

平成 31 年度第 1 回理事会 議事録

日 時：平成 31 年 4 月 3 日（水）18：30～21：00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事
陪 席：なし
欠 席：内田、今井、山崎監事
理事定数：21 名
出席理事数：19 名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、楣山 広美

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

3 月 6 日 第 12 回理事会

◎中井、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事、山崎監事

3 月 10 日 愛知県臨床検査精度管理調査報告会・特別講演会

◎菊地、中根、中井、岡田、夏目、石神、佐野、神野、中村

3 月 14 日 第 2 回学術部会議

◎内田、岡田、鈴木、神野、石神、武山

3 月 15 日 サイボウズ Live 移行ワークショップ

◎武山

3 月 19 日 第 30 回日本医学会総会 2019 「健康未来 EXPO2019」 実務委員事前説明会

◎中根、中井、藤田、岡田、夏目、石神、菊地、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、中村、渡辺、楣山監事

3 月 27 日 執行理事会

◎中根、中井、岡田

3 月 30 日 藤田医科大学 OSCE 説明会

◎岡田、刑部

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 12 回執行理事会報告

中井副会長より執行理事会の報告があった。2019 年 4 月 27 日から 5 月 6 日の GW 中は事務所は閉所する。会誌らばの発送を 4 月 26 日までに完了させたい。その日程に間に合う様、原稿の提出をお願いすることであった。その間メールの転送などはしないため、会員向けに愛臨技 HP に閉所のお知らせを掲載することとした。その他は協議事項で審議する。緊

急時には執行理事に報告する様指示がされた。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

① 庶務部

- 3月 1日 2月に開催された西三河地区研修会の講師札状を発行し、発送した。
3月 6日 10月に開催される第23回日本医業経営コンサルタント学会愛知大会後援名義依頼についての承諾書を発行し、発送した。
3月 8日 臨地実習前客観的評価試験(OSCE)実務委員推薦についての回答書を発行し、発送した。
3月 8日 4月に開催される生物化学分析検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
3月 8日 4月に開催される生殖医学検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。
3月 8日 4月に開催される微生物検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
3月 11日 4月に開催されるフレッシュセミナー2019の講師依頼状を発行し、発送した。
3月 11日 4月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
3月 11日 4月に開催される平成30年度会計監査会の開催案内を発行した。
3月 13日 3月に開催された精度管理報告会の来賓札状と講師札状を発行し、発送した。
3月 13日 愛知県臨床検査精度管理調査細胞検査部門で使用する症例画像のための施設使用願いを発行し、発送した。
3月 13日 3月に開催される健康未来EXPO2019実務委員事前説明会の開催案内を発し、発送した。
3月 13日 3月30日～4月7日に開催される健康未来EXPO2019の実務委員委嘱状を発行し、発送した。
3月 23日 平成31年度事業計画を県に提出した。

医療安全に関する講演会報告

臨床検査技師の参加者が1名あった。愛臨技が講演している行事にはできるだけ参加する様、要請があった。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の3月分会務報告書および会計執行状況について報告があった。平成30年度の地区、学術部などの会計報告についてはほぼ完了しているが、不明な点は最終確認をする。予算案に従い今年度活動費を支給する。学術部研究班は各口座に振込、各地区は現金にて支給するとしていたが、地区に関しても高額のため学術部と同様通帳を作成し、支給することとした。通帳が間に合わなかったため、とりあえずの活動費を現金でお渡しし、追って残金を口座に入金し、後日通帳、カードを配布することとした。

日臨技より前年度病理細胞研究班推進事業助成金、初級職能開発研修会日臨技負担金の振込があった。また今年度の会員年会費 3,139名分の振込がされた。

(2) 学術部門

岡田副会長より日臨技より基幹施設（化学のみ）を廃止するとの報告があった。

① 学術部

鈴木理事より3月14日 第2回学術部会議の開催報告がされた。平成30年度会計監査を中心に各班の最終会計確認を行った。その後、武山部長から新しいグループウェア、Zoho connectの使用説明を受けた。また、各研究班班長に提出書類に関してこれまで間違いが多かった点などを示し、手順等を再度周知した。

② 精度管理事業部

菊池精度管理部長より3月10日に開催された平成30年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会の開催報告がされた。170名（会員159名、賛助会員11名）と多数の参加

があり、各部門からポイントを絞った報告が行われた。また、同日、第7回精度管理事業部会を開催した。部会資料の電子化は進めるが、総括集に関しては問題点も明らかとなつたため、引き続き検討することとした。

中根会長より、学術奨励賞推薦者の論文に対し、どの様な手順とするか検討することの指示があり、岡田副会長、学術部長を中心に査読規定などを作成して対応することとなった。

(3) 渉外部門

・ 尾張東地区

- 3月1日 第6回地区運営会議を開催した。(参加:9施設10名)
- 3月2日 地区親睦会を開催した。(参加:7施設9名)

① 組織部

刑部組織部長より4月21日(日)フレッシュセミナー開催のお知らせがあり、参加者募集への協力要請があった。5月31日(金)世界禁煙デー開催予定
和出理事より開催中のEXPO2019では予想以上の参加者があり盛況であるとの報告がされ、引き続き実務委員協力のお願いがあった。

① 広報部

武山広報部長より、4月1日「らぼニュースNo.445」(4月号)を3,500部発行し、今回地区だよりが2地区掲載されていると報告があった。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より以下のとおりホームページ更新報告があった。
2月25日 遺伝子・染色体検査研究班 1月活動報告の掲載
2月27日 一般検査研究班 2月活動報告の掲載
3月1日 生殖医学検査研究班 4月講演会、カレンダーを掲載
3月1日 生理検査研究班 4月研究会、カレンダーを掲載
3月2日 血液検査研究班 4月研究会、カレンダー、活動報告を掲載
3月3日 微生物検査研究班 2月活動報告の掲載
3月5日 輸血検査研究班 アンケートと活動報告の掲載
3月7日 微生物検査研究班 4月研究会、カレンダーを掲載
3月9日 2019年度前期行事日程、イベント写真の掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、3月10日名古屋第一赤十字病院東棟2階会議室1にて「医療法等の一部改正に伴うよろず相談会」の開催報告がされた。初めての企画であったが23施設25人と予測以上の参加者があり、また継続の要望もあったことから今後も続けていきたいとのことであった。

3月26日AiCCLS第3回実務委員会を開催し、平成30年度活動報告、会計報告、平成31年度事業計画・予算案を中心に審議した。また、今年度の愛知県医学検査学会のランチョンセミナーで標準化協議会の活動を紹介することになっており、今年発行する臨床化学のガイドラインと遺伝子染色体研究班のリーフレットの紹介をすることであった。

6. 第19回愛知県医学検査学会実行委員会報告

柴田理事より3月8日に開催した第6回実行委員会報告があった。一般演題の査読が完了、全演題採用通知を申込者にメール配信した。演題抄録を始めその他の抄録集原稿もメールにて最終確認中である。ランチョンセミナー、企業展示、協賛など企業からの協力は予定以上集まっており、順調に進めているとのことであった。武山広報部長より抄録集の広告協賛業者はやや不足しているとのことであった。

7. 日臨技報告

梶山幹事より日臨技理事会の報告がされた。

日臨技制度保証施設として新たに 497 施設を承認し、2019 年度は前年度より 26 施設増加し 831 施設となった。また、e-ラーニングの精度管理責任者育成講習の非会員サイトを 4 月 1 日より開講した。2019 年度の支部学会開催予定が報告され、中部圏支部は 10 月 12-13 日岐阜で開催される。その他日臨技認定センターにおける平成 30 年度の状況報告、入会案内の送付、平成 30 年度被災申請・認定状況、支部学会における日臨技企画のテーマなどの報告があった。

中根会長より前回の理事会で審議をした中部圏支部学会のシンポジスト選出に関し、愛知県は認定遺伝カウンセラーについての発表を担当することになったと報告がされた。

8. その他の報告事項

(1) 医療法の一部改正対策よろずセミナー2019 in 愛知 について

佐野理事より 3 月 10 日に開催した医療法の一部改正よろずセミナーが好評であり、引き続きの開催の要望があったことから今年度 5 月 26 日、6 月 30 日、7 月 28 日の 3 回シリーズで開催すると報告があった。学術部門員、認定臨床化学・免疫化学制度保証管理検査技師が担当し、対象は 200 床以下の施設を優先対応とすることとした。参加申込締め切りを 5 月 20 日とし、募集要項を愛臨技ホームページとらば 5 月号に掲載することとした。

III. 協議事項

1. 第 12 回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第 12 回理事会の議事録（案）の確認があり、修正等があれば 1 週間以内に Zoho で夏目庶務部長まで知らせることで了承された。

2. 2019 年度永年職務精励者について

夏目庶務部長より、日臨技 3 月の時点での 88 名のリストが届き、条件等を確認したところ 75 名が該当することになったと報告があった。この確認作業が困難であること、対象者が漏れてしまう可能性もあることから、日臨技に対象者リスト抽出について愛臨技通算年数を出して欲しいと要望を出したと報告があった。今年度については庶務部で確認した永年職務奨励者該当 75 名について全員一致で承認がされた。

3. 2019 年度賛助会員加入のお願いについて

中井副会長より、賛助会員の研究会等への参加条件について以下のように変更する案が報告され、全員一致で承認された。

《改定案》参加費の明記がない学術活動において、参加人数に関わらず正会員と同様参加費を無料とする。

これに従い、賛助会員カードの発行は廃止することとした。

4. 基幹施設小委員会委員の辞任と後任の推薦について

菊地精度管理事業部長より、精度管理事業部基幹施設小委員会委員であった公立西知多総合病院の山内昭浩技師から辞任届が提出され、後任として同施設の吉本尚子技師の推薦があり、いずれも全員一致で承認された。

5. 愛知県医師会精度管理委員の辞任と後任の推薦について

菊地精度管理事業部長より、愛知県医師会精度管理委員の名古屋第一赤十字病院の牧俊哉技師より提出された辞任届と、後任として同施設の広瀬美砂技師の推薦があり、全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

(1) 26 名の新・転入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

V. 確認事項

1. 菊地精度管理事業部長より、平成 30 年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会の参加報告らぼ原稿の確認依頼があった。良い写真がなかったため文章のみでらぼに掲載することとした。
2. 第 11 回日本臨床一般検査学会および第 17 回スキルアップ講習会の後援名義の使用について夏目庶務部長より表記の学会、講習会への後援名義使用依頼があったと報告があり、特に問題はないとの執行理事会の判断が示され、これを確認した。
3. 2019 年度 公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 祝賀会・懇親会開催のご案内
刑部組織部長より表記のらぼ原稿案が示され、表題に愛臨技名を明記することと、FAX 番号をわかりやすく表示することの指示があり、修正原稿を武山広報部長へ送付するよう指示がされた。
4. らぼニュース 5 月号掲載内容について
武山広報部長より、らぼニュース 5 月号の掲載内容が以下の通りと報告された。
卷頭言 2019 年度定時総会について（夏目庶務部長）
精度管理報告会に参加して
地区だより（尾張西）
AiCCLS（第 59 回）
また、発行部数 3,600 部とする変更が提案されたが、もうひと月現状のままとし、新入会数、退会者数の推移を確認することとした。

VI. 連絡事項

1. 夏目部長より、黒住医学研究振興財団より研究助成の案内があった。

VII. その他

1. 鈴木理事より備品の貸し出しについて質問があり、中井副会長から「備品ファイル等の作成中であり、手続き等準備中である。」とのことであった。
2. 検体採取の資格に関し、村瀬理事より学生の履修状況について質問があった。短大の場合は今年度卒業生から、4 年生大学の場合は来年卒業生より授業で履修しているとのことであった。

令和元年 5 月 8 日

議

長：中根 生弥



議事録署名人：梶山 広美



令和元年度第2回理事会 議事録

日 時：令和元年5月8日（水）18:30～21:00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：なし
理事定数：21名
出席理事数：21名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥、楣山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

4月 3日 第1回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事

4月 10日 第1回精度管理事業部事務局会議

◎菊地

4月 16日 第1回精度管理事業部事業部会

◎菊地、岡田

4月 17日 平成30年度会計監査

◎山崎監事、楣山監事、中根、中井、石神、夏目

4月 21日 フレッシュセミナー2019

◎刑部、中根、藤田、和出

4月 25日 執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第1回執行理事会報告

中井副会長より第1回執行理事会報告について議事録が提示され、詳細については本理事会議題内にて説明するとの報告があった。

(2) 中根会長

4月 16日 愛知県医療保健局生活衛生課へ挨拶に出向いた。

(3) 中井副会長

4月 16日 愛知県医療保健局生活衛生課へ挨拶に出向いた。

(4) 岡田副会長
4月 16 日 愛知県医療保健局生活衛生課へ挨拶に出向いた。

(5) 藤田副会長
4月 16 日 愛知県医療保健局生活衛生課へ挨拶に出向いた。

中井副会長より愛知県医療保健局生活衛生課への訪問理由について、健康福祉部保健医療局長、生活衛生課長、生活衛生課主幹、保健医療局生活衛生部長の交代があったため、着任の挨拶に出向いたとの報告があった。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

梶山監事より4月 17日に行われた平成30年度監事監査について報告があった。監査報告および監査報告書をもとに内容についての説明が行われ、監査の結果、事業報告等について法令および定款に従い当会の状況を正しく示していると認められ、また、決算書類およびその付属明細書並びに財産目録についても適正に表示してあると認められたとの報告があった。また、要望事項について中根会長より、詳細については担当副会長および各事業部にて検討いただきよう依頼があった。

① 庶務部

4月 5 日 4月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
4月 5 日 5月に開催される一般検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。
4月 9 日 平成 31 年度基幹施設小委員会委員委嘱状を発行し、発送した。
4月 9 日 2019 年度定時総会役員宛てに案内状を発行し、発送した。
4月 9 日 平成 31 年度学術奨励賞・永年職務精励者表彰者の表彰式ならびに祝賀会・懇親会案内を発行し、発送した。
4月 10 日 2019 年度定時総会への出席依頼をらばニュース 5 月号に同封する準備をした。
4月 11 日 名誉会員の 2019 度定時総会への出席依頼を発行し、発送した。
4月 15 日 5月に開催される病理細胞検査研究班講演会講師依頼状及びマイナンバー提供依頼書類を発行し発送した。
4月 18 日 4月に開催された生殖医学検査研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。
4月 22 日 精度管理調査事業（輸血）のための施設使用願いを発行し、発送した。
4月 24 日 愛知県医師会精度管理委員会委員の推薦について、回答を FAX した。
4月 24 日 精度管理調査事業（微生物）のための施設使用願いを発行し、発送した。
4月 25 日 ホームページ委員の職場変更に伴い委嘱状を再発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の 4 月分会務報告書および会計執行状況について報告があった。地区については、今年度から通帳管理することとしたが、通帳作成が間に合わず年度初めに現金 50,000 円を渡していたため、本日、残りの金額が入金された通帳およびカードを配布するとの連絡があった。また、通帳管理に関する注意事項を全部門が再度確認できるよう Zoho にて連絡することとなった。

4月 14 日 梶山監事と共に平成 30 年度会計監査前調査を行った。
4月 17 日 梶山監事、山崎監事による平成 30 年度会計監査を行った。

(2) 学術部門

岡田副会長より、地区理事からの藤田医科大学 OSCE の内容についての質問に対する返答があった。神野理事より質問内容について追加説明があり再度返答について議論され、愛臨技としては講師の推薦はしているが藤田医科大学のプログラムであるため、内容については紹介程度が良いのではとの意見があった。

① 精度管理事業部

菊地精度管理部長より4月10日に開催した第1回精度管理事業部事務局会議および4月16日に開催した第1回精度管理事業部事業部会について議事録をもとに報告がされた。総括集のWeb化について、段階を追って行うこととしますは報告会および理事会での配布を止めて印刷部数を削減することとした。また武山広報部長より、今後Web化を検討していく中で、同時にホームページのサーバー容量についても検討が必要になるとの指摘があった。

(3) 渉外部門

・ 尾張西地区

4月10日 第1回地区運営会議を開催した。(参加: 8 施設 9名)

・ 尾張北地区

神野理事より地区理事の選任方法について質問があった。各地区が選任方法について回答し、これらも参考にしながら今後検討していくこととなった。

・ 尾張東地区

今井理事より施設連絡責任者が登録されていない施設への対応方法について質問があった。地区理事からの情報提供が得られなくなるという不利益を説明し、登録のお願いを対象施設の技師長にすることが得策と考えられるが、まずは未登録施設の把握を各地区で行うこととなった。

・ 尾張南地区

4月17日 第1回地区運営会議を開催した。(参加: 9 施設 17名)

水野理事より2020年度愛臨技祝賀会・懇親会について記念式典とした場合の会場選定について質問があり、中根会長より例年通りの会場規模があれば特に問題はないが、詳細については今後検討していくとの返答があった。

・ 知多地区

4月18日 第1回地区運営会議を開催した。(参加: 6 施設 11名)

・ 東三河地区

4月18日 第1回地区運営会議を開催した。(参加: 8 施設 10名)

① 組織部

和出理事より3月30日～4月7日に開催した健康未来 EXPO『まなびのまち』の開催報告がされた。臨床検査技師ブース内各コーナーおよびミニ講座の参加者数集計表が提示され説明があった。石神会計部長より会計報告がされ、日臨技へ報告することとなった。また、今回の経験が今後健康フェスティバル等のイベントへ還元できるよう情報共有をおこなった。刑部組織部長より4月21日に開催したフレッシュセミナーの開催報告がされた。参加者は94名、会計も予算内で収まったとの報告があった。また、参加登録の方法をFAX申込みにて行ったが、登録確認の問い合わせ電話や事前登録が3名されていなかったなどトラブルがあったため、今後の申込み方法について愛臨技ホームページからWebにて登録する方式への変更について検討することとなった。同時に、他行事においてもFAX申込みをやめWeb申込みへ変更可能か検討することとなった。Web申込み後の返信メールについては、返信先の設定により受け取れない場合があり、過去に問い合わせが増えた経緯があるため、まずは返信メールなしとして開始し、状況を確認しながら検討していくこととなった。

① 広報部

武山広報部長より、以下の報告があった。5月1日「らぼニュース No.446」(5月号)を3,500部発行した。県学会HPの公開について原稿等の確認が終了次第公開する予定。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より以下のとおりホームページ更新報告があった。

3月21日 生理検査研究班 前期活動計画の掲載

3月22日 生理検査研究班 平成30年度活動報告のまとめ

3月27日 らぼニュース4月号、特別研修会、新人サポート、世界禁煙デーの掲載

3月30日 生殖医学検査研究班 活動報告の掲載

4月2日 2019年度前期行事予定

4月8日 輸血検査研究班 5月研究会、カレンダーの掲載

4月8日 「新人サポート」申込リンクの設置、カレンダー掲載

4月8日 GW事務所閉所について、精度管理報告会の修正

4月15日 一般検査研究班 5月研究会、6月基礎講座、カレンダーの掲載

4月15日 遺伝子・染色体検査研究班 平成30年度活動報告の掲載

4月19日 微生物検査研究班 4月活動報告の掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、4月15日にAiCCLS市川朝洋会長名で「医療法等の一部改正に伴うよろずセミナー2019開催のお知らせ」の周知依頼書を愛知県医師会と愛知県病院協会へ発送し、現在の申し込み状況は35施設37名との報告があった。4月26日に開催されたAiCCLS第1回調整会議について報告があり、新刊発刊物について、今回から印刷会社変わり印刷代2割程度の削減ができたとの報告があった。発刊物のレイアウトが大きく変更されたため実物を確認し、特に問題はないとの判断であったが、地区運営会議にて各施設へ周知することとなった。

6. 第19回愛知県医学検査学会実行委員会報告

今井理事より4月12日に開催した第7回実行委員会の開催報告があった。議事録が提示され、内容について説明があり、作成した書類については本理事会の協議事項に協議依頼したとの報告があった。武山広報部長より、抄録集の表紙についての確認依頼があり、特に問題はないため採用することとなった。

7. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より、今年初めて検査総合部門の研修会が9月1日(日)にリップルスクエアにて開催を予定しているとの報告があった。内容については決定していないが、医療法の一部改正や検体採取等検査全般に関わる内容を検討している。梶山監事より6月22日に開催される日臨技総会について、今回の総会にて定款の改定を予定しており3分の2以上の承認が必要となるため、地区運営会議にて周知を行っていただき、電子的議決権行使を必ず実施してもらうよう依頼があった。検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について、今年度企画している3回が愛知県内で行う最後の講習会となっており、未受講者について必ず受講させるよう連絡があった。また、来年の卒業生からは資格を持って卒業するとの報告があった。

8. その他の報告事項

(1) 「臨床検査技師の働き方改革」セミナーの後援依頼について

中根会長より、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社から「臨床検査技師の働き方改革」セミナーの後援依頼があり、規程に則り後援することとしたとの報告があった。

(2) 第70回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会の生涯教育申請について

夏目庶務部長より、第70回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会の生涯教育申請について、毎年行っており規程も満たしているため申請を行うとの報告があった。

III. 協議事項

1. 第1回理事会の議事録(案)の確認について

夏目庶務部長より第1回理事会の議事録(案)の確認があった。愛知県医師会精度管理委員の辞

任届と後任推薦について、独立した番号での記載へ変更依頼があり修正することとした。その他修正等があれば1週間以内にZohoで夏目庶務部長まで知らせることで承認された。

2. 2018年度決算報告（案）について

石神会計部長より2018年度決算報告書類について、貸借対照表およびその内訳表、正味財産増減計算書およびその内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録、収支計算書が提示され、内容についての詳細報告があった。これらを確認し、収支相償を満たしており有給財産も問題ないため、全員一致で承認した。

3. 2019年度ベッドサイド講習会について

鈴木理事より、11月30日～12月1日に行われる2019年度ベットサイド講習会の企画書、予算書検体採取シミュレータ貸出申請書について協議依頼があり、内容を確認し全員一致で承認した。

4. 2019年度愛知県臨床検査精度管理調査概要の6月号らぼニュース掲載について

菊地精度管理部長より、2019年度愛知県臨床検査精度管理調査概要の6月号らぼニュース掲載原稿について協議依頼があった。これらを確認し、全員一致で承認した。また、らぼニュースとは別に各施設へ実施要項が送付されるとの報告があった。

5. 臨床化学部門の精度管理調査参加費用増額及び参加費調整について

菊地精度管理部長より、臨床化学部門の精度管理調査参加費用増額及び参加費調整について協議依頼があった。臨床化学部門については、ここ数年の参加施設数増加と高額なHbA1c試薬購入数増加に伴い赤字を計上していた。このため、臨床化学項目の増額および生理、一般、病理部門の減額による参加費用の調整案が提示された。参加者が負担すべき金額と愛臨技が負担すべき金額のバランスや最終的な会計に加え、公益事業としての収支計算など様々な目線からの議論がされ、今年度の参加費変更は見送ることとした。今後、執行理事や会計部と共に検討を重ね、来年度の予算申請時に再度提案できるよう進めることとなった。

6. 2019年度愛知県臨床検査精度管理調査募集要綱について

菊地精度管理事業部長より、2019年度愛知県臨床検査精度管理調査募集要綱について協議依頼があり、参加費を昨年と同額に戻し、注意事項内的一部修正を行うこととし、全員一致で承認した。

7. 第19回愛知県医学検査学会ランチョンセミナー共催申請について

今井理事より、第19回愛知県医学検査学会のランチョンセミナー共催申請5件の協議依頼があり、内容を確認し全員一致で承認した。

8. 第19回愛知県医学検査学会スライド借用について

今井理事より、第19回愛知県医学検査学会のスライドカンファレンスにて使用する標本の借用依頼書2件について協議依頼があった、文章構成の修正を若干行うこととし、全員一致で承認した。

9. 愛知県医師会精度管理委員の推薦について

岡田副会長より、前回理事会にて愛知県医師会精度管理委員の推薦について承認を行ったが、精度管理事業部よりJA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蒲澤 康晃技師の推薦があり、期日の関係で推薦規程に則り執行部にて医師会へ推薦を行ったとの報告があった。事後承認となるがこれを全員一致で承認した。

10. 令和2年春の叙勲候補者推薦について

中井副会長から、愛知県から令和2年の春の叙勲候補者推薦の依頼があり、愛臨技理事会から大同病院の森田秀夫氏を推薦することについて協議依頼があった。愛知県の規約および本人の了承が得られることを前提とし、全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 89名の新・転入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

V. 確認事項

1. らぼニュース 6月号掲載内容について

武山広報部長より、らぼニュース 6月号の掲載内容について以下の通りと報告された。

巻頭言 岡田副会長

地区だより（尾張西）

AiCCLS（第 60 回）

EXPO2019

フレッシュセミナー2019

本理事会にて追加掲載となった原稿について、早急に提出するよう依頼があった。また、印刷部数については現段階で会員数が 3376 名のため、3,500 部とするとのことであった。

2. 2019 年度定時総会当日の業務について

夏目庶務部長より、定時総会当日の業務分担について資料が提示され説明があった。当日の座席表については、後日 Zoho にて公開することとなった。

VI. 連絡事項

1. 平成 31 年度事業における都道府県技師会へのご協力のお願いについて

中井副会長より、日臨技から平成 31 年度事業への協力依頼が届いたとの連絡があり、内容について資料をもとに説明された。

2. 夏目庶務部長より 2019 年度都道府県災害対策研修会の開催について連絡があった。

3. 武山広報部長より新人サポート研修会について、申込み人数が 153 名となり申し込みを締め切ったとの連絡があった。

4. 刑部組織部長より 2019 年度愛臨技祝賀会・懇親会の参加申し込みが始まったとの連絡があった。

令和元年 6 月 12 日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

議事録署名人：山崎 正夫 

令和元年度第3回理事会 議事録

日 時：令和元年6月12日（水）18:30～21:30
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：尾崎文彦（トヨタ記念病院：総会準備）
欠 席：なし
理事定数：21名
出席理事数：21名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

5月 8日 第2回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

5月15日 第2回精度管理事業部会

◎菊地、岡田

5月 26日 2019年愛臨技新人サポート研修会

◎内田、中根、鈴木、神野

5月 29日 第2回執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第2回執行理事会報告

中井副会長より第2回執行理事会について議事録が提示された。

(2) 中根会長

5月18日 宮島喜文国政報告会に出席した。

(3) 藤田副会長

5月18日 宮島喜文国政報告会に出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

5月 24日 令和2年厚生労働省関係叙勲候補者の選考調書を愛知県へ発送した。

① 庶務部

- 5月 7日 4月に開催された生理検査研究班研究会の講師札状を発行し、発送した。
5月 7日 7月に開催される微生物検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月 7日 7月に開催される生物化学検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月 9日 7月に開催される東三河地区研修会の講師依頼状及びマイナンバー提供依頼書を発行し、発送した。
5月 10日 11月に開催されるベッドサイド講習会に使用する「検体採取用シミュレータ」貸出申請書を発行し、発送した。
5月 13日 7月に開催される「臨床検査技師の働き方改革セミナー」の後援承諾書を発行し、発送した。
5月 13日 第19回愛知県医学検査学会企画における患者標本の借用の依頼状を発行し、発送した。
5月 13日 5月に開催される新人サポート研修会の講師依頼状、実務委員委嘱状を発行し、発送した。
5月 13日 2019年度定時総会議案書原稿の校正を行った。
5月 14日 横長縦書き用表彰状200枚と縦長横書き用表彰状50枚が納品された。
5月 17日 2019年度定時総会議案書3,600部の印刷を依頼した。
5月 20日 2019年度愛知県臨床検査精度管理事業への共催依頼書を発行し、発送した。
5月 22日 2019年度定時総会議案書3,600部が納品された。
5月 23日 梶山監事が花車ビル南館管理組合第53期通常総会に出席した。
5月 23日 7月に開催される生殖医学検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月 23日 5月に開催された一般検査研究班研究会の講師札状を発行し、発送した。
5月 23日 6月に開催される一般検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月 23日 7月に開催される生殖医学検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月 24日 5月に開催される新人サポート研修会の講師依頼状の修正分を発行し、発送した。
5月 27日 2019年度定時総会議案書の発送を完了した。
5月 27日 EXPO2019の報告書を発行し、発送した。
5月 27日 7月に開催される血液検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。

梶山監事より、花車ビル南館管理組合第53期通常総会の報告がされた。

主な議題として、事業計画等の報告、南館管理組合法人化登記とともに、建て替えを視野に入れた活動の中で必要とされる「名駅5丁目まちづくり協議会」結成の方針案が承認されたと報告された。協議会への一般会員としての入会を要請されているが、本会事務所の移転を考えており、今は入会しないこととした。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の5月分会務報告書および会計執行状況について報告があり、年度初めのため事業開催が少なく、執行率は低いとのことであった。

(2) 学術部門

岡田副会長より、愛知県精度管理調査の案内を今年度は非会員施設には送付していないがホームページで開催案内を出すことを検討していると報告があった。希望があれば可能な範囲で参加可能であるため、問い合わせがあれば岡田副会長あるいは技師会事務所に連絡を入れて欲しいとのことであった。

① 学術部

内田学術部長より以下の報告がされた。

5月 31日 生殖医学検査研究班講演会の日臨技推進事業決算報告が承認され、愛臨技へ助成金28,500円が支払われた。

5月26日 2019年愛臨技新人サポート研修会を開催した。

受講者157名（愛知県会員156名（内入会申請中32名）、非会員1名）

実務委員12名、講師11名

参加予定枠を越しての申込があり、事前にお断りをしたが、当日飛込での参加者も見られた。

アンケートでの感想もおおむね好評だった。

- ・5月の輸血検査研究班研究会で行われたサテライト会場による開催について報告がされ、音声、スペックなどの課題は残ったが、今後も含め学術部門で再度検討していくとのことであった。
- ・10月に岐阜で開催される中部圏支部医学検査学会の一般演題の登録数が少ないとのこと、演題登録を呼びかけるよう依頼がされた。

② 精度管理事業部

菊地精度管理部長より、第2回精度管理事業部会を開催し、実施計画書の審議、メーカーへの依頼、日臨技サポート事業中止の報告、基幹施設小委員会についての意見収集などを行ったと報告された。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

・尾張北地区

5月15日 第1回地区運営会議を開催した。（参加：16施設20名）

・尾張東地区

5月10日 第1回地区運営会議を開催した。（参加：9施設10名）

・尾張南地区

5月15日 第2回地区運営会議を開催した。（参加：7施設12名）

・西三河地区

5月21日 第1回地区運営会議を開催した。（参加：12施設13名）

・東三河地区

5月24日 地区親睦会を開催した。（参加：7施設10名）

② 組織部

刑部組織部長より以下の報告がされた。

5月31日 禁煙週間・歯と口の健康週間街頭キャンペーンに5名で参加した。

7月7日（日）の愛知県臨床検査技師会祝賀会・懇親会開催について説明があり、参加申込者が少ないため再度参加登録を促すよう、依頼があった。

9月1日（日）春日井健康救急フェスティバルにエントリーし、採血、生化学的検査、超音波検査などを検討中であることが報告された。

11月17日（日）検査と健康展を例年通りイオン熱田店で開催する予定。

③ 広報部

武山広報部長より以下の報告がされた。

「県学会抄録・会誌らば」を3,500部発行した。

「らぼニュースNo.447」（6月号）を3,500部発行した。

配送作業の時間がかかるため、発送は6月5日ごろの予定

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

ホームページ更新歴

- 4月25日 病理細胞検査研究班 2月活動報告、班員情報の更新
4月27日 らばニュース、祝賀会・懇親会、よろずセミナーの掲載
4月30日 生殖医学検査研究班 4月活動報告、活動計画の掲載
5月1日 一般検査研究班 6月研究会、カレンダーの掲載
5月1日 血液検査研究班 活動計画、活動報告、7月研究会、カレンダーの掲載
5月2日 輸血検査研究班 7月基礎講座、カレンダーの掲載
5月4日 生理検査研究班 7月研究会、カレンダー、活動報告の掲載
5月6日 生物化学分析検査研究班 活動報告の掲載
5月11日 申込行事一覧へ「祝賀会・懇親会」の追加
5月15日 「フレッシュセミナー2019」、「EXPO2019」、「HIV」の写真掲載
5月15日 AiCCLS 新規発刊物の追加、事務連絡の掲載
5月15日 病理細胞検査研究班 5月研究会、カレンダーの掲載
5月19日 病理細胞検査研究班 6月研究会、カレンダーの掲載
5月23日 県学会内容のHP掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より以下の報告がされた。

- 5月9日 2019年度第1回AiCCLS実務委員会を開催した。本年度の各検査部門の活動計画の確認、7月5日の理事会推進委員会に提出予定の「一般検査部門：尿定性検査の手順書」と「免疫血清部門：リーフレット 梅毒検査」の確認をおこなった。
また、梶山監事、藤田副会長により監査を実施していただいた結果、特に問題はなかったことが報告された。
- 5月26日 医療法等の一部改正に伴うよろずセミナー2019を開催し、44施設47名の参加があった。好評であったが実務委員の体制などの問題点も明らかとなり、次回の課題とした。
- 5月30日 第2回実務委員会調整会議を開催した。
活動に対する作業代について審議し、実働に合う支給額となる改定案が承認され、7月開催のAiCCLS理事会で審議することとなった。

6. 第19回愛知県医学検査学会第8回実行委員会報告

今井理事より5月10日に開催した第8回実行委員会(参加施設8施設11名、オブザーバー1名)の報告がされ、残り1ヶ月になったが準備は進んでいるとのことであった。
今井理事より一般市民からホームページを見て一部だけ参加したいとの問い合わせがあったことに関しどうすべきかとの質問がされたが、その対応については原則に沿えば参加費を徴収することになるが、学会長一任で処理して良いこととした。今年度の実績を見て次回以降の対応を考えることとした。抄録集の余剰分の扱いについては会場で学生、非会員などに無料配布することを了承された。興行中止保険の加入については、今回は加入しないこととし、次回以降のために見積金額を理事会に提示することとした。

7. その他の報告事項

石神会計部長より日臨技総会の議決権行使がまだ少ないので行使を呼びかけるよう依頼があった。期限は6月21日まで。

III. 協議事項

1. 第2回理事会の議事録（案）の確認について
夏目庶務部長より第2回理事会の議事録（案）の確認があった。修正があれば1週間以内に夏目庶務部長まで知らせることとした。
2. 認定病理技師更新単位と細胞検査士更新単位の申請について
内田学術部長より病理細胞検査研究班から出された9月基礎講座の認定病理技師更新単位の申請依頼が出され、全員一致で了承された。細胞検査士更新単位申請については別団体の単位であるため、愛臨技会長名で再度申請書を作成することとした。
3. 一般検査研究班試料提供願いの発送について
内田学術部長より、一般検査研究班基礎講座で使用する試料提供願いが提出され、全員一致でこれを承認した。
4. 県学会、メーカーへの参加証の提供について
岡田副会長より、愛知県医学検査学会協賛企業に対し参加証を無料提供する提案が出された。金額別、協力形態別などの案を協議の結果、原則としてはランチョンセミナー5枚、展示協賛3枚、広告協賛等2万円以上で1枚とするが、最終的には学会会計なども考慮し、実行委員会で決定することで承認された。
5. 2020年度愛知県医学検査学会実行委員会役員候補の推薦について
尾張南水野理事より2020年度愛知県医学検査学会実行委員会役員候補者の推薦案が提示され、全員一致でこれを承認した。

学会長	中井美千代（中部労災病院）
副学会長	大橋 実（名古屋市立大学病院）
実行委員長	南谷 健吾（名古屋記念病院）
事務局長	武山 純也（中京病院）
会計	水野 義樹（大同病院）

また、Zoho connect の県学会グループへの登録申請書も提出され、承認された。今回は既存のグループへの登録と新規グループ作成と同時に行ない、どちらが使い勝手が良いか検討することとした。
6. 測定依頼趣意書について
菊地精度管理部長より、愛知県臨床検査精度管理調査の測定依頼趣意書が提出され、協議した。昨年度すでに承認されている書式であり、一部表記の統一の指示がされたが、それ以外は問題なく、承認された。
7. 第58回中部圏支部医学検査学会（2019/10/12・13：長良川国際会議場）と第73回国立病院総合医学会（2019/11/8・9：名古屋国際会議場）への演題登録について
菊地精度管理部長より、表記学会への精度管理部門の活動に関する演題登録希望（国立病院総合医学会 1演題、中部圏支部医学検査学会 6演題）が報告された。
抄録の修正の指摘はあったが、発表内容として問題はなく、全員一致でこれを承認した。
8. 第26回日本未病システム学会学術総会の後援依頼について
武山広報部長より表記の学術総会への後援申請書が提出され、昨年度の実績もあることから全員一致で承認した。
9. 2019年度名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）市民公開講座の後援依頼について
夏目庶務部長より標記の申請があつたことが報告され、全員一致でこれを承認した。
10. 第14回日本臨床検査学教育学会学術大会の後援依頼について
藤田副会長より標記の学術大会の後援申請書が提出され、全員一致でこれを承認した。

11. 第 21 回日本医療マネジメント学会学術総会の後援依頼について
夏目庶務部長より標記の後援申請書が提出されたことが報告され、審議の結果、全員一致でこれを承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 75 名の新・転入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。
三重県在住、1 名の入会希望者があったが、『愛知県在住または職場が愛知県内であること』という愛臨技規定に従い、入会は認めないことを承認した。

V. 確認事項

1. らぼニュース 7 月号掲載内容について
武山広報部長より、らぼニュース 7 月号の掲載内容について以下の通りと報告された。
巻頭言 総務部門担当（中井副会長）
地区だより（尾張北）
AiCCLS（第 61 回）
2. らぼニュース掲載願いについて
菊地精度管理部長より当会会員が参加した、68 回日本医学検査学会 International Young BLS Forum の感想のらぼニュースへの掲載希望があり、承認された。中根会長より、らぼニュースへの掲載に関し、学術部で内容等確認した上で掲載する手順とするよう指示がされた。
3. 2019 年度定時総会当日の業務について
夏目庶務部長より当日のタイムスケジュール、会場レイアウトなどの資料が提示され、資料に沿って役割分担、当日の準備、総会のタイムスケジュール等の確認を行った。

VI. 連絡事項

1. 第 33 回東海糖尿病治療研究会 糖尿病患者教育担当者セミナー事前申し込みについて
夏目庶務部長より標記セミナーの事前申し込みの案内があった。
2. 『愛知県糖尿病療養指導士認定機構』発足のお知らせ
夏目庶務部長より『愛知県糖尿病療養指導士認定機構』発足のお知らせがあった。

令和元年 7 月 3 日

議 長：中根 生弥 印

議事録署名人：梶山 広美 印

議事録署名人：山崎 正夫 印

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 2019年度定時総会 議事録

1. 招集日

2019年5月1日



2. 開催日時

2019年6月16日（日）午前10時00分～12時00分

3. 開催場所

TKP名駅桜通口カンファレンスセンター ホール3E

住所：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-13-5 名古屋ダイヤビル3号館

電話：052-589-2382

4. 出席社員の状況

議決権のある当法人社員総数	3,410名
総社員の議決権数	3,410個
出席社員数	2,544名（内委任状出席者2,373名）
本総会議決権総数	2,544個

5. 出席役員等

出席代表理事	中根 生弥
出席理事	中井 美千代
出席理事	岡田 元
出席理事	藤田 孝
出席理事	夏目 久美子
出席理事	石神 弘子
出席理事	内田 一豊
出席理事	菊地 良介
出席理事	刑部 恵介
出席理事	武山 純也
出席理事	佐野 俊一

出席理事 柴田 典子
出席理事 鈴木 博子
出席理事 和出 弘章
出席理事 木下 健次郎
出席理事 神野 洋彰
出席理事 今井 正人
出席理事 水野 義樹
出席理事 村瀬 斎
出席理事 中村 広基
出席理事 渡邊 基裕
出席監事 梶山 広美

6. 司会者 夏目 久美子 庶務部長

7. 開会の辞 岡田 元 副会長

8. 会長挨拶 中根 生弥 会長

9. 総会役員選出

(1) 議長選出について

夏目 久美子庶務部長から議長に尾崎 文彦（トヨタ記念病院）氏の推薦があり、満場一致をもって承認された。

(2) 書記任命について

議長から宮坂 雄太（大同病院）、村上 昌彦（豊川市民病院）両氏に推薦があり、満場一致をもって承認された。

(3) 資格審査委員、議事運営委員任命について

議長から以下の会員が指名され、満場一致をもって承認された。

尾張西	谷口 大介	稲沢市民病院
尾張北	後藤 慎一	春日井市民病院
尾張東	寺田 達夫	愛知医科大学病院

尾張南	渡辺 美加	大同病院
知多	明壁 均	常滑市民病院
西三河	井上 順子	西尾市民病院
東三河	手嶋 充善	豊橋市民病院
理事	水野 義樹	大同病院

(4) 議事録署名人選について

議長から加藤 俊樹（公立西知多総合病院）、橋村 正人（名城病院）両氏の推薦があり、満場一致をもって承認された。

10. 総会成立宣言

上記の通り社員の出席だったので、議長により本定時総会の成立が宣言され、議案審議に入った。

11. 議事

(1) 議案審議

1) 第1号議案 2018年度事業報告

2018年度（事業年度；2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業について、中根生弥会長から全体の概要について報告があり、以下、総務部門については中井美千代副会長から、学術部門と臨床検査標準化事業については岡田元副会長から、渉外部門については藤田孝副会長から、各々議案書に従って詳細な説明があった。

第1号議案について、稻垣勇夫氏より以下の質問があった。公益法人になってから技師会とメーカーとの共催は行わないことであるが、1月理事会で承認されたメーカーとの共催についてその経緯と今後の運用について説明して欲しい。これに対し、中根会長より以下の回答があった。2015年10月7日に学術部の共催・協賛・後援に関する内規を制定しており、内規における一定の条件に基づき、学術部の中で十分に協議をされ理事会で承認をしている。今回、一般検査のファブリー病に関する企業による学術的な情報の提供と、会員によるファブリー病に関する検査についての講演という双方からの学術的な情報の提供を、広く愛臨技会員の皆様に提供するためにはコンプライアンス等に抵触する内容ではないと判断され、承認された経緯がある。愛臨技としても学術部内規に基づき、今後も内容が

会員や県民に広く伝わる学術情報であれば認めていく方針である。

次いで挙手で賛否を問うたところ、賛成多数で承認された。

2) 第2号議案 2018年度会計報告

2018年度（事業年度；2018年4月1日から2019年3月31日まで）の決算について、石神弘子会計部長から、議案書に従い下記書類の詳細な説明があった。

1. 貸借対照表
2. 損益計算書（正味財産増減計算書）
3. 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類
4. 財産目録

3) 第3号議案 2018年度監査報告

梶山広美監事から、2018年度（事業年度；2018年4月1日から2019年3月31日まで）の理事の職務執行および上記書類について綿密に監査を行った結果、いずれも正確、適法かつ妥当であることを認めた旨の報告があった。

第2号議案、第3号議案について挙手で賛否を問うたところ、賛成多数で承認された。

（2）報告事項

1) 2019年度事業計画

2019年度（事業年度；2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業計画について、中根生弥会長から議案書に従って説明があり、引き続き総務部門については中井美千代副会長から、学術部門については岡田元副会長から、渉外部門については藤田孝副会長から議案書に従って詳細な説明があった。

2) 2019年度収支予算

2019年度（事業年度；2019年4月1日から2020年3月31日まで）の収支予算書について、石神弘子会計部長から、議案書に従い詳細な説明があった。

3) その他

夏目 久美子庶務部長から、その他の報告事項はない旨の報告があった。

議長は、以上をもって議案審議が終了した旨を宣言し、書記及び資格審査委員、議事運営委員を解任し、自ら議長を解任した。

12. 会員からの意見・要望

- 1) 稲垣勇夫氏より、是非新しい事務所を早急に検討し、取得に向けて具体的に活動していただきたい、とご意見があった。中根会長より、会員の皆様の長きにわたる十分な資金が蓄積されてきており、ここ数年の間に少しでも見える形で進めていきたい。公認会計士に協力いただき愛知県にも十分な説明をし、前向きな検討については合意を得られている。アクセスのよい土地で、会議もできるようなスペースについても検討していきたい。詳細について順次ご報告させていただきたいと回答があった。

13. 来賓挨拶

健康福祉部保健医療局長 吉田 宏 氏 (代読: 伊藤泰高主幹)

14. 表彰式

15. 閉会の辞 藤田 孝 副会長

2019年6月17日

議

長：

尾崎文彦



議事録署名人：

加藤俊樹



議事録署名人：

橋村正人



出席代表理事：中根生弥



出席理事：中井美千代



出席理事：辻田元



出席理事：藤田彦



出席理事：夏目久美子



出席理事：石神弓子



出席理事：内田一慶



出席理事：角地良介



出席理事：刑部亮介



出席理事：武山純也



出席理事：佐野俊一



出席理事：柴田典子



出席理事：鈴木博子



出席理事：和出弘章



出席理事：木下健次郎



出席理事：神野洋彰



出席理事：今井正人



出席理事：水野義樹



出席理事：村瀬 有



出席理事：中村 元基



出席理事：渡邊 基裕



出席監事：梶山 広美





令和元年度第4回理事会 議事録

日 時：令和元年7月3日（水）18：30～20：20
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、刑部、武山、柴田、鈴木、佐野、
木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：菊地、和出、今井
理事定数：21名
出席理事数：18名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

6月12日 第3回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

6月16日 定時総会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事

6月27日 第3回執行理事会

◎中根、中井、藤田

6月28日 第1回広報部会・ホームページ運営委員会合同会議

◎武山、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第3回執行理事会報告

中井副会長より第3回執行理事会について議事録が提示され、以下の報告があった。学校健診に関する会議への参画について、以前は臨床検査技師が参加していたことがあるとの情報提供が愛知県医師会からあり、参画に向けて医師会との情報交換を進めることとした。2020年度定時総会開催日程について、開催日時を2020年6月14日(日)10時、会場をTKP名古屋駅前カンファレンスセンターとして準備を進めることとした。会場については、今年度まで利用していた会場が取り壊しとなるため変更することとなった。臨床一般検査研究会主催の第17回スキルアップ講習会について、令和元年度第1回理事会での後援承認後、共催での開催申し出があり申請書類の提出を依頼したが、今年度は後援のみとしたいとの返答があったため、今年度は共催ではなく後援のみすることとなった。

- (2) 中根会長
6月 22日 日臨技定時総会に出席した。
6月 29日 中部圏支部幹事会に出席した。
- (3) 藤田副会長
6月 22日 日臨技定時総会に出席した。

3. 各部門報告

- (1) 総務部門
6月 16日 2019年度定時総会を開催した。

- ① 庶務部
6月 3日 一般検査画像資料提供願いを発行し、発送した。
6月 3日 6月に開催される病理細胞検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
6月 5日 7月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
6月 7日 5月に開催された病理細胞検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。
6月 10日 日臨技に令和元年度役員名簿調査用紙を送付した。
6月 10日 公益法人アンケートに回答した。
6月 17日 6月に開催される一般検査研究班基礎講座実務委員の委嘱状を発行し、発送した。
6月 17日 6月に開催される一般検査研究班基礎講座のための試料提供願いを発行し、発送した。
6月 17日 2020年8月に開催される第15回日本臨床検査学教育学会学術大会の後援承諾書を発行し、発送した。
6月 17日 11月に開催される第26回日本未病システム学会学術総会の後援承諾書を発行し、発送した。
6月 17日 10月に開催される名古屋大学大学院医学系研究科市民公開講座の後援承諾書を発行し、発送した。
6月 17日 7月に開催される第21回日本医療マネジメント学会学術総会の後援承諾書を発行し、発送した。
6月 19日 公益法人Informationにて平成30年度事業報告等について提出した。
6月 20日 2019年度永年職務精励者表彰式欠席者の表彰状を発送した。
6月 27日 7月に開催される県学会公開講演講師のマイナンバー提供依頼書を発行した。
6月 27日 8月に開催される微生物研究班基礎講座講師依頼状と実務委員委嘱状を発行し、発送した。

夏目庶務部長より、6月19日公益法人Informationにて平成30年度事業報告等について提出し、今年度の報告は終了したとの報告があった。

- ② 会計部
石神会計部長より、学術部、各地区の6月分会務報告書および会計執行状況について、事業開催の開催有無により執行率にばらつきはあるが事業計画通りとの報告があった。
石神会計部長より以下の報告があった。中部圏支部研修会の会計について、微生物研究班へ研究班会計との混在を防ぐ目的で、参加費の振込などを扱うための通帳を貸し出すこととし、現在使用していない口座の通帳を7月から貸し出して12月の決算提出後に返却する予定とした。キャッシュカードの番号間違があり、現在対応中ではあるが番号間違いには十分注意するよう報告があった。
中井副会長よりキャッシュカードの暗証番号間違について、銀行より使用不能となる条件については公表していないとの返答があったため、番号間違い後の再入力時には特に気を付けるよう報告があった。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より 6 月 28 日に病理細胞検査研究班講演会、2019 年度新人サポート研修会の日臨技推進事業決算報告が承認され、愛臨技へ各 50,000 円、計 100,000 円の助成金が支払われたとの報告があった。

② 精度管理事業部

岡田副会長より、愛知県臨床検査精度管理調査申込み状況について7月3日現在で140施設に達し、昨年度より早いペースとの報告があった。試料の関係上150施設が限度のため、毎年実施している施設への注意喚起の依頼があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

6 月 28 日 第 2 回地区運営会議を開催した。(参加 : 9 施設 10 名)

● 尾張南地区

6 月 19 日 第 3 回地区運営会議を開催した。(参加 : 6 施設 10 名)

水野理事より、第 20 回愛知県医学検査学会開催準備について以下の質問があった。実行委員会活動資金の授受方法と時期について、余っている通帳を第 20 回愛知県医学検査学会用に割り当て学会準備金を入金し後日渡すとの返答があった。学会名称への「愛臨技創立 70 周年記念」の冠付けについては、2020 年度は学術研究班単独の行事以外すべて冠付けを行う予定であるため、学会にも冠付けを行うとの返答があったが、名称および対象行事については今後検討することとなった。愛臨技祝賀会・懇親会の開催について、愛臨技側は窓口を組織部とし、渉外部門が担当するとの返答があった。

● 知多地区

6 月 27 日 親睦会を開催した。(新人歓迎ボーリング大会 参加 : 6 施設 38 名)

6 月 27 日 第 2 回地区運営会議を開催した。(参加 : 6 施設 8 名)

● 東三河地区

6 月 6 日 東三河輸血勉強会を開催した。(参加 : 8 施設 21 名)

6 月 20 日 第 2 回地区運営会議を開催した。(参加 : 10 施設 15 名)

6 月 21 日 東三河生理検査勉強会を開催した。(参加 : 7 施設 24 名)

渡辺理事より 7 月 14 日に開催予定の東三河地区研究会抄録集が提示され、内容についての説明があった。中井副会長より執行理事からは岡田副会長が参加するとの報告があった。

② 組織部

刑部組織部長より以下の報告があった。

7 月 7 日開催予定の令和元年愛臨技祝賀会・懇親会について、現時点での参加者数が 141 名（会員 87 名、賛助会員 46 名、招待者 18 名）との報告があった。また、資料が提示された日の役割や式次第について確認があった。9 月 1 日開催予定の春日井救急健康フェスティバルについて、組織部員 8 名に加え春日井市民病院から数名参加予定、援助金￥25,000 の申請を行うとの報告があった。

③ 広報部

武山広報部長より以下の報告があった。

「らぼニュース No.448」(7 月号) を 3,500 部発行した。

6 月 28 日に第 1 回広報部会・ホームページ運営委員会合同会議を開催した。

らぼニュースの発行部数について、会員数増加のため 8 月号から 100 部増加して 3,600 部発行し、100 部増加による追加料金は 1,000 円との報告があった。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より、6月28日に開催された第1回広報部会・ホームページ運営委員会合同会議の内容について、以下の報告があった。サーバー移設の検討について、現在レンタルしているサーバーが「http」でありセキュリティが弱い状態となっているため、「https」への移行について検討する。また、これに加え学会の演題配信等にも利用可能なクラウドストレージ機能が付いたサーバーを探していく方向で検討する。ZOHOの運用について、使用方法が難解な点があるため、引き続きサイボウズの代わりとなるシステムを検討していくとの報告があった。

ホームページ更新歴

- 5月29日 県学会HPの公開、平成30年度精度管理報告会の掲載
5月29日 一般検査研究班 5月活動報告の掲載
5月30日 輸血検査研究班 基礎講座、5月活動報告の掲載
6月2日 血液検査研究班 7月研究会カレンダー掲載
6月3日 遺伝子・染色体検査研究班 7月研究会、カレンダーの掲載
6月4日 病理細胞検査研究班 5月活動報告の掲載
6月4日 生殖医学検査研究班 7月研究会、カレンダーの掲載
6月4日 生理検査研究班 7月研究会、カレンダー、4月活動報告の掲載
6月11日 HIV写真、世界禁煙デー写真の掲載
6月12日 愛臨技精度管理募集要綱の予約掲載
6月14日 微生物検査研究班 7月研究会、カレンダー掲載
6月19日 微生物検査研究班 8月基礎講座、カレンダー掲載
6月19日 「新人サポート」、「定時総会」の写真掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より6月30日に開催された第2回医療法等の一部改正に伴うよろずセミナー2019について、参加者数および内容について報告があった。参加は43施設45名、次回は7月28日に名大にて開催との報告があった。

6. 第19回愛知県医学検査学会第8回実行委員会報告

6月5日 第9回実行委員会を開催した。(参加:6施設10名、オブザーバー1名)
6月14日 第10回実行委員会を開催した。(参加:7施設10名、オブザーバー1名)
柴田理事より会場の現地確認を行い、若干変更を行ったとの報告があった。メーカーへの無料バス配布について、メールで配信し当日人数を確定していただく方法とした。会場設営は前日から行うが、会場が使用されているため遅くからの設営となるが、会場の設営はホテル側が準備するため必要ないとの報告があった。

7. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より日臨技総会について、全ての議案について承認されたとの報告があった。6月29日に中部圏支部理事会が開催されたとの報告があり、内容について以下の報告があった。中部圏支部臨床検査総合部門研修会の開催について、開催案内が提示され内容について説明があった。検体採取について、これから開催される3回をもって支部での開催は終了となる。日本医学検査学会について3,700名の参加があり、次回の第69回は仙台国際センター、第70回は福岡国際会議場となり、第70回は記念学会となる。認知症対応講習会、地域ニューリーダーは今年度開催し、日臨技精度管理結果サポート事業については中止との報告があり、中部圏支部学会にて精度管理報告会、国政報告会が企画されているとの報告があった。医療技術部門管理資格認定制度が立ち上がり、現在18名程度エントリーしており、30名程度を予定している。災害支援について、愛臨技として支援できることを検討していく。中部圏支部学会について、2019年が岐阜、2020年が富山、2021年が静岡となり、2021年は第60回の記念大会となる。また、各県の会費および勉

強会、研修会の参加費や講師料について、中臨技として取りまとめていたとの報告があった。相山監事より、日臨技の全員加入保険について業務中の感染見舞金が追加され、詳細についてはホームページに掲載との報告があった。藤田副会長より、中部圏支部臨床検査総合部門研修会内の講演内容となっている「医療法、臨床検査技師法等改正への対応」に関するアンケート調査について、これからアンケート調査を行うため協力依頼があった。

III. 協議事項

1. 第3回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第3回理事会の議事録（案）の確認があった。修正があれば1週間以内に夏目庶務部長まで知らせる上で承認された。

2. 認定一般検査技師指定講習会申請書について

内田学術部長より認定センターへの指定講習会申請について資料が提示され、内容を協議し全員一致で承認した。

3. 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度更新指定研修会申請書について

内田学術部長より認定センターへの指定講習会B/5単位の申請について資料が提示され、内容を協議し全員一致で承認した。

4. 日本未病システム学会臨床検査部会の共催について

武山広報部長より表記への共催申請書が提示され、技師会からの講師派遣依頼があった。内容を確認し全員一致で承認した。講師の人選については今後検討する。

5. 渉外部門広報部員の辞任届について

藤田副会長より広報部員の辞任届が提示され、辞任理由についての報告があった。内容を協議し全員一致で承認した。

6. 令和元年度精度管理専門委員の推薦について

岡田副会長より表題の件について、任期満了となる森田 秀夫（大同病院）に代わり内田一豊（豊橋市民病院）を新たに加えた、岡田 元（安城更生病院）、藤田 孝（藤田医科大学病院）、内田 一豊（豊橋市民病院）の3名が推薦され、技師会の推薦基準を確認し全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

(1) 14名の新・転入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

中井副会長より、第3回理事会にて審議を行った三重県在住の入会希望者について、まだ連絡が取れておらず、返金できていないとの報告があった。

中根会長より、日臨技定時総会にて「日臨技会員は県の会員でもある事」が決議されたとの報告があり、今後どちらか一方のみの会員となる事はできなくなったとの報告があった。

V. 確認事項

1. らぼニュース8月号掲載内容について

武山広報部長より、らぼニュース8月号の掲載内容について以下の通りと報告された。

巻頭言 組織部門担当（刑部組織部長）

2019年度定時総会開催報告

一般検査の基礎講座に参加して

第19回愛知県医学検査学会を終えて

地区だより（尾張南）

2019春日井市健康救急フェスティバル開催案内

AiCCLS（第62回）

原稿が提出されていない内容について、期限までに提出するよう依頼があった。

VI. 連絡事項

- 令和元年度結核予防技術者地区別講習会（東海・北陸ブロック）のご案内
夏目庶務部長より標記講習会の周知および参加依頼があった。

令和元年8月7日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

議事録署名人：山崎 正夫 

令和元年度第5回理事会 議事録

日 時：令和元年8月7日（水）15:00～18:30
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、夏目、石神、内田、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、中村、渡辺、梶山監事
陪 席：なし
欠 席：藤田、菊地、村瀬、山崎監事
理事定数：21名
出席理事数：18名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

7月 3日 第4回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

7月 5日 愛知県臨床検査標準化協議会 第1回理事会・推進委員会

◎佐野、中根、岡田、藤田、内田、菊地、梶山監事

7月 7日 第19回愛知県医学検査学会

◎内田、中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事

7月 7日 第20回愛知県医学検査学会 第1回企画委員会

◎内田、中根、中井、岡田、藤田、夏目、鈴木、武山、水野

7月 7日 祝賀会・懇親会

◎刑部、中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、神野、今井、水野、梶山監事

7月 23日 第1回総務部門会議

◎中井、中根、夏目、石神、柴田

7月 24日 第1回学術部門会議

◎岡田、中根、内田、菊地、鈴木博、佐野、神野

7月 27日 第2回OSCE打合せ会議

◎岡田、内田

7月 28日 第3回よろずセミナー

◎佐野、中根、岡田、内田、菊地

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第4回執行理事会報告

中井副会長より第4回執行理事会の議事録に沿って以下の報告がされた。

会計事務所より指摘があり、各部門の法人名義の通帳管理のため、4月に遡り出納簿様式を変更する必要があり、年度途中ではあるが協力を依頼する。詳細は総務部門会議報告と会計部報告で説明がある。また、現在各部門保管のマニュアル、内規、様式などは統一管理されていない。愛臨技全体として文書管理をするために、これらを各部門で印刷（年号、様式番号などを最新の状態にしたもの）し、12月末までに庶務部長まで提出するよう依頼された。会議資料（配布資料）が非常に多く、事務員の負担が大きくなっている。業務軽減を検討するので意見があれば庶務部長まで申し出て欲しいとのことであった。

(2) 中井副会長

7月18日 浅井 正樹先生の告別式に参列した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より7月23日に開催された第1回総務部門会議の議事録が提示され、以下の報告がされた。

会計処理方法についてはすべての部門で法人通帳管理をしていることから口座内の入出金管理用と現金用の出納簿を分ける必要がある。4月から遡って修正するよう依頼された。また来年度予算書の作成について、様式の変更、記載方法の変更のお知らせがあり、部門締め切り9月20日、会計部締め切り9月末日とすることが報告された。

愛臨技所有備品の貸出可能品の整理、貸出手順を早々に検討する。役員の名刺について国際学会などでも使用できるよう、名刺の裏面に英語表記を入れることにした。また、事務所事務員の募集を引き続きしているので候補者がいれば中井副会長まで知らせて欲しいとのことであった。

① 庶務部

7月 1日 2020年に開催される第20回愛知県医学検査学会の実行委員委嘱状を発行し、発送した。

7月 1日 公益法人Informationにて平成30年度事業報告修正について提出した。

7月 4日 7月に開催される輸血検査研究班基礎講座の講師依頼状、実務委員委嘱状を発行し、発送した。

7月 8日 11月に開催される日本未病システム学会臨床検査部会の共催承諾書を発行し、発送した。

7月 8日 公益法人Informationにて平成30年度事業報告再修正について提出した。

7月 16日 令和元年度愛知県精度管理専門委員推薦書類を発行し、発送した。

7月 22日 11月に開催される尾張北地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。

7月 26日 公益法人Informationにて平成30年度事業報告再々修正について提出した。

7月 28日 HPの各種手続き文書の元号標記を修正し、掲載した。

夏目庶務部長より今年度公益法人Informationの様式変更があったため、何度か修正があつたことが報告された。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の7月分会務報告書および会計執行状況について確認し滞りなく執行されているとの報告があった。第19回愛知県医学検査学会の決算書についても確認し、展示出展料収益が予算より大きく上回ったこと、参加費収益の減収は賛助企業への無料措置によるものであること、支出に関しては講師謝金、抄録集の印刷代などの点で下回ったことから約60万円の黒字決算であったことが報告された。

令和2年度予算書改定と予算書作成について資料をもとに説明がされた。各事業部、部門ごとの記載は前年通り勘定科目毎に記載、年度ごとの科目集計欄が増えた。各事業部で取りまとめ、部長による確認後、会計部には9月末日必着、第1次予算案は10月末執行理事会へ提示予定。スケジュールにあわせた準備を依頼された。

(2) 学術部門

岡田副会長より7月24日に開催された第1回学術部門会議について資料とともに報告がされた。次期班長の選出条件として『過去5年以内に日臨技生涯教育履修制度終了していること』とする。サテライト研修会については引き続き検討して行く。認知症研修会は今年度生物化学研究班例会として開催する。スキルアップセミナーはテーマとして『パニック値』を予定。精度管理事業部から今年度他県からの参加が1施設あった。他県からの参加について検討の必要がある。日臨技では基幹施設廃止となつたが、愛臨技として中小施設からの問い合わせ対応などの体制を検討する。

① 学術部

内田学術部長より7月7日第20回愛知県医学検査学会第1回企画委員会開催の報告があった。詳細は後述。

病理細胞検査研究班研究会、一般検査研究班基礎講座Ⅰ、生物化学分析検査研究班研究会、生殖医学検査研究班研究会の日臨技推進事業決算報告が承認され、愛臨技に助成金が支払われた。7月27日藤田医科大学で、第2回OSCE打合せ会議を開催した。9月26日に監査を実施する。岡田副会長より臨地実習時間が増え、OSCEも必須になるとの情報提供があった。

② 精度管理事業部

岡田副会長より7月5日(金)開催した平成30年度 第3回精度管理事業部会議について報告がされた。精度管理事業についての報告と、医療法の一部改正に対応できるよう、遺伝子染色体研究班、生殖医学研究班の参加など準備中とのことであった。試料発送については8月25日予定なので、各施設への到着は8月26日(月)となる。施設連絡者会議などでの周知を依頼された。

7月31日(水) 精度管理調査申込みを終了し、7月26日(金)時点での参加施設は147施設(昨年度は141施設)。

静岡県からの参加1施設についてJAMTQCへの登録などどのように対応したのか、非会員施設への対応(参加費)などの質問がされた。今回は個別対応し、参加費については日臨技も非会員でも同額としていることに倣って対応した。岡田副会長より今後については検討の必要があるとの回答であった。

試料発送の際の駐車料金について質問があった。石神会計部長より、試料の運搬など会務活動に必要な場合の駐車料金は領収書を添えて雑費として計上できるが、会に参加するための駐車料は認められないとの回答であった。中井副会長より議事録の記載は誤解を招かない様な記載とするよう依頼があった。

(3) 涉外部門

① 各地区報告

・ 尾張北地区

7月17日 第2回地区運営会議を開催した。(参加: 14施設 15名)

・ 尾張東地区

7月12日 第2回地区運営会議を開催した。(参加: 12施設 13名)

・ 尾張南地区

7月17日 第4回地区運営会議・第20回愛知県医学検査学会第1回実行委員会合同会議を開催した。(参加: 10施設 18名)

・ 西三河地区

7月16日 第2回地区運営会議を開催した。(参加: 12施設 13名)

- 東三河地区
7月14日 東三河地区研究会を開催した。(参加：会員123名、賛助会員47名)
- (2) 組織部
7月7日 2019年度愛臨技祝賀会・懇親会を開催した。参加者数は招待者15名を含む198名であった。
9月1日春日井救急健康フェスティバルには3名のボランティアと組織部員8名の11名体制で対応予定。愛知県臨床検査技師長協議会と共に開催している管理運営研修会を、今年度は10月26日(土)に開催する。初級職能研修会、ニューリーダー研修会は2月に合同開催予定。

- (3) 広報部
「らぼニュースNo.449」(8月号)を3,600部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より、容量等の問題で他社への移行を検討していたが、その場合、ホームページ担当会社は今後の更新に対応できないとのことであったため、この件については再度ホームページ運営委員会で検討することであった。

ホームページ更新歴

6月26日 HIV写真の掲載
6月27日 らぼニュースの予約掲載
6月28日 中部圏支部研修会の掲載
7月 9日 病理細胞検査研究班 9月基礎講座、カレンダー掲載
7月 24日 病理細胞検査研究班 6月活動報告の掲載
7月 25日 生物化学分析検査研究班 7月活動報告、10月基礎講座、カレンダーの掲載
7月 25日 愛知県医学検査学会、祝賀会懇親会の風景写真を掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より7月5日(金)愛知県医師会館にて開催された2019年度第1回愛知県臨床検査標準化協議会理事会・推進委員会合同会議の報告がされた。役員選任、2018年度事業報告・決算、2019年度事業計画・予算案と新発刊物である一般検査部門の「尿定性検査の手順書」と免疫血清部門の「梅毒検査リーフレット」について審議し、確認、承認された。

6. 「医療法等の一部改正に伴うよろずセミナー2019」報告

佐野理事より表記の開催報告がされ、参加者からの要望で今年度2回程度追加開催(処理の最終確認、立入検査後の情報共有)を検討することであった。

7. 第19回愛知県医学検査学会実行委員会報告

今井理事より7月7日(日)第19回愛知県医学検査学会の開催報告があり、参加者数758名(内訳:会員571名、非会員18名、学生22名(名古屋大学7名、藤田医科大学9名、中部大学6名)、賛助会員147名(招待分100名、会費徴収47名))と盛会に終了した。事業報告、礼状案等が提示され、日付表記、年号表記に統一することで確認された。

8. 第20回愛知県医学検査学会実行委員会報告

水野理事より資料とともに7月17日開催された第1回実行委員会の報告がされた。役員の自己紹介、役割分担の確認、第19回愛知県医学検査学会視察報告などであった。その他は協議事項で報告する。

9. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より令和2・3年における中部圏支部学術部門員の推薦について説明があり、部門員の推薦は県会長の推薦が必要、理事会にて承認、部門長については支部長の推薦。各研究班の方へ依頼中。

III. 協議事項

1. 第4回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第4回理事会議事録の確認があり、修正などがあれば1週間以内に夏目庶務部長まで連絡することとした。

2. 旅費規程の改定について

夏目庶務部長より自家用車使用の場合についての記載を追記した旅費規程案が提示された。協議の結果、自宅からの場合は自宅住所（町名まで番地は不要）記載し、100円未満は切り上げ実費支給とすること、駐車料金、有料道路通行料は支給しないこととし、これらの説明文を別表の旅費支給基準内に明記し、様式にも記載例を追記することを全員一致で承認された。

3. 豊田市精度管理委員の推薦について（

夏目庶務部長より豊田市精度管理委員（委嘱期間：令和元年9月1日～令和2年3月31日）の推薦依頼があったと報告され、引き続き佐野理事に依頼することを全員一致で承認した。

4. 名古屋市衛生検査所精度管理専門委員の推薦について

夏目庶務部長より名古屋市衛生検査精度管理委員の推薦依頼があり、引き続き中村清忠氏（刈谷豊田総合病院）を推薦することを全員一致で承認した。

5. 会誌らぼに掲載した県学会学術奨励賞の論文を、医学検査へ投稿することについて

内田学術部長より今年度会誌らぼに掲載した愛知県医学検査学会奨励賞の受賞論文を日臨技会誌である『医学検査』に投稿するよう受賞者に要請することの提案があった。『会誌らぼ』は学術誌ではないため二重投稿とはならないこと、『医学検査』では査読があり、大変ではあるが本人にとっても実績となることから全員一致でこれを承認した。学術部長より執筆者に依頼することとし、また、今後も奨励賞について同様の流れとすることを確認した。

6. 「県学会抄録・会誌らぼ」担当、発行部数について

武山広報部長より会誌らぼと学会抄録集を一体化したことに関し、広告協賛費の依頼方法、配布方法など実際の運用について提案がされた。協賛企業から学会への協賛と愛臨技会誌への協力と2つに分かれることで混乱したとの意見、事務員の仕分け作業、配送作業の負担増などが問題点として挙げられ、審議の結果、会計上も問題はなく処理できることから企業への協賛依頼は学会窓口で1本化することを全員一致で承認した。発行部数については予算上の問題、配布作業負担などの点で削減案が出されたが、審議の結果これまで通り全会員へ配布することで承認された。配送については印刷会社に依頼した方が費用面でも安価であることが判明したが、会員の個人情報を渡すことなどの問題点もあり、継続審議事項とした。

7. 第20回愛知県医学検査学会の趣意書について

水野理事より第20回愛知県医学検査学会の趣意書が提出され、全員一致で承認された。

愛知県臨床検査技師会創立70周年記念 第20回愛知県医学検査学会

開催日：2020年7月5日（日）

会場：ミッドランドスクエアオフィスタワー5F ミッドランドホール

メインテーマ：『未来へ繋ぐLEGACY』

サブテーマ：～検査を創る五つの輪～

中根会長より学会参加費の見直し検討依頼と、今学会が県学会20回、愛臨技創立70周年と

して節目の学会と考え、愛臨技として全面的に協力することであった。

8. 第 20 回愛知県医学検査学会実行委員の Zoho グループ 2020 年県学会への登録申請について
水野理事より表記の申請があり、全員一致でこれを承認した。
9. 第 20 回愛知県医学検査学会 学会長、副学会長、実行委員長、事務局長、会計担当、抄録担当への日臨技事務権限の付与について
水野理事より学会運営上、日臨技の登録システムを使用する必要があるため、上記 6 名への日臨技事務権限の付与願いが出され、全員一致でこれを承認した。
10. 令和元年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第 58 回）座長推薦依頼について
内田学術部長より令和元年度日臨技中部圏支部医学検査学会の座長候補者 7 名の提案があり、全員一致でこれを承認し、愛臨技として推薦することとした。
11. その他
 - (1) ベッドサイド実践講習会への後援依頼について
鈴木理事より愛知県医師会、愛知県病院協会、愛知県看護協会、愛知県薬剤師会、愛知県臨床工学技士会、愛知県理学療法士会への後援依頼書案が提出され、日臨技の会長名表記の修正指示があり、修正後、後援依頼書を郵送することを全員一致でこれを承認した。
 - (2) 第 71 回愛知県糖尿病療養指導士研究会 学術講演会の生涯教育申請について
夏目庶務部長より表記の依頼があり、全員一致でこれを承認し、9 月らばに案内を掲載することとした。

IV. 新入会審査

- (1) 13 名の新入会・転入会審査を行い、1 名の勤務先が東京都となっていることから確認が必要であるが、それ以外については全員一致で承認した。

V. 確認事項

1. らばニュース 9 月号掲載内容について
武山広報部長よりらばニュース 9 月の掲載内容について以下の通りと報告確認がされた。
卷頭言 涉外部門副会長（藤田副会長）
輸血検査研究班の基礎講座に参加して
地区だより（知多）
AiCCLS（第 63 回）
よろず相談会
第 71 回愛知県糖尿病療養指導士研究会 学術講演会
管理運営研修会
がんフォーラム案内

VI. 連絡事項

1. 2019 年度医学研究・健康増進活動等助成（応募要項）について
夏目庶務部長より表記の案内（締切 8 月 31 日）があった。
2. 名刺の作成について
夏目庶務部長より次期より表面日本語、裏面英語の名刺を作成する。今期中、急ぎで必要な場合は夏目庶務部長まで申し出ることとした。

令和元年 9 月 4 日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

令和元年度第6回理事会 議事録

日 時：令和元年9月4日（水）18:30～20:55
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：今井
理事定数：21名
出席理事数：20名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

8月7日 第5回理事会

◎中根、中井、岡田、夏目、石神、内田、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、中村、渡辺、梶山監事

8月20日 第1回学術部スキルアップ研修会担当者会議

◎岡田、内田、鈴木、神野

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第5回執行理事会報告

中井副会長より第5回執行理事会の議事録に沿って以下の報告がされた。

賛助会員会費未納会員について、会費が未納である会社に対し入金の依頼をすることとした。
愛臨技事務所の移転先候補について、金山駅近辺で5か所ほど物件の紹介があったが、分譲
物件が少ない、築年数など条件に合う物件ではなかったため、引き続き交通至便な立地で探
すこととなった。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より顕微鏡借用願の改定について報告があった。顕微鏡借用願の様式が2種類存在
することが発覚しそれぞれで内容が違ったため、今回新たに顕微鏡借用申請書兼許可書と
して改定した。今後は、当様式を事務所へ提出し許可を得ることとする。これに伴い、学術マ
ニュアルの変更および新様式のホームページ掲載依頼があった。また現在、事務所備品の一
覧および借用申請書を作成しており、最終的には事務所備品の借用申請書にまとめられる
との報告があった。

① 庶務部

8月1日 7月に開催された生理検査研究班講師礼状を発行し、発送した。

8月1日 9月に開催される遺伝子染色体検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、
発送した。

- 8月9日 豊田市精度管理専門委員の推薦について回答書を発行し、発送した。
- 8月9日 令和元年度第1回役員推薦委員会開催案内を発行し、発送した。
- 8月19日 名古屋市衛生検査所精度管理専門委員の推薦について回答書を発行し、発送した。
- 8月20日 9月に開催される春日井市健康救急フェスティバルにおける装置借用書を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より各地区および学術部の8月分会計執行状況について、開催行事と執行状況についての説明があり、滞りなく執行されているとの報告があった。日臨技からの振込について、会費10名分、入会金8名分、生涯教育推進研修会助成金について病理・細胞検査研究班研究会に50,000円、輸血検査研究班基礎講座に50,000円、生理検査研究班研究会に5,000円計150,000円が振り込まれたとの報告があった。

中井副会長より、8月と2月に利子がつくため、通帳記帳し会計報告するよう連絡があった。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より8月20日に開催された第1回 学術部スキルアップ研修会担当者会議について議事録が提示され、開催日および内容について報告があった。

8月30日に、病理細胞検査研究班研究会、輸血検査研究班基礎講座、生理検査研究班研究会の日臨技推進事業決算報告が承認され、各50,000円合計150,000円の助成金が愛臨技に支払われた。

② 精度管理事業部

菊地精度管理事業部長より8月25日に愛知県医師会館にて試料発送を行ったとの報告があった。今年度は一般施設148施設、メーカー26施設へ発送し配達遅延がメーカーへ1件あった。また、その他トラブルについての報告があった。

8月25日に開催された第4回精度管理事業部会について議事録が提示され内容について報告があった。今年度の問題点として、医師会およびJAMTQC事務員交代によるもの、参加施設増加に伴うもの等報告があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

8月16日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:8施設9名)

● 尾張北地区

8月17日 尾張北地区懇親会を開催した。(参加:3施設21名)

神野理事より退職した職員の所属未変更について質問があり、中井副会長より事務局で対応するとの返答があった。

● 尾張南地区

8月21日 第2回愛知県医学検査学会実行委員会を開催した。(参加:8施設13名)

● 知多地区

8月22日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:5施設6名)

村瀬理事より、日臨技のみ会員となっている方への対応について質問があり、中井副会長より庶務部または総務部門で対応するとの返答があった。

● 東三河地区

8月15日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:8施設11名)

② 組織部

刑部部長より、9月1日に開催された春日井救急健康フェスティバルについて開催報告があった。各ブースについて、採血73名、尿70名、エコー105名の参加があった。また、11月

に開催する検査と健康展について申し込み方法が愛臨技ホームページから申込みと変更となったとの報告があった。

③ 広報部

「らぼニュース No.450」(9月号)を3,600部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

ホームページ更新歴

7月28日 生理検査研究班 10月研究会、カレンダー、7月活動報告の掲載

7月28日 らぼニュース、春日井健康救急フェスタの予約掲載

7月29日 一般検査研究班 6月活動報告の掲載

7月29日 HIV写真の掲載

7月31日 平成30年度議事録まとめ、AiCCLS動画ページ作成

8月1日 遺伝子・染色体検査研究班 7月活動報告、9月研究会、カレンダーの掲載

8月6日 微生物検査研究班 9月研究会、カレンダーの掲載

8月6日 輸血検査研究班 7月活動報告、アンケートの掲載

8月11日 病理細胞検査研究班 基礎講座へ認定単位の追記

8月16日 微生物検査研究班 4月研究会活動報告の掲載

愛知県医学検査学会のバナーの非表示

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より以下の報告があった。よろずセミナーについて9月29日に第4回、11月24日に第5回を追加開催することとなり、会場は第2、3回と同じ名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟B 6階会議室2を予定。また、保健所立ち入り検査の状況調査について、理事施設へ協力依頼があった。発刊物について、尿検査についてはホームページからパブリックコメントを募集中、免疫リーフレットについて実物を提示され説明があった。会費振込み済み施設への会費請求書誤郵送が1件あり、通帳に記載されている施設名称が文字数の関係により途中で途切れおり間違えて発送したとの報告がった。

6. 第20回愛知県医学検査学会実行委員会報告

水野理事より8月21日に開催された第2回実行委員会について議事録が提示され内容について報告があった。愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県病院協会への後援申請について申請書の提示があった。その他、予算書等については協議事項で検討する。

7. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より中部県支部医学検査学会開催中の10月13日に宮島会長による国政報告会が開催されるとの報告があった。また、日臨技精度管理報告会も10月13日に開催されるとの報告があった。梶山幹事より、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の愛知県内開催が11月30日開催の回が最後との連絡があった。

III. 協議事項

1. 第5回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第5回理事会議事録の確認があり、修正などがあれば1週間以内に夏目庶務部長まで連絡することとした。

2. スキルアップ研修会、実務委員と発表者のZohoグループスキルアップ研修会への登録申請について

内田学術部長より上記申請があり、全員一致で承認した。

3. 愛臨技印刷物の印刷会社変更について

武山広報部長より6月発送時の「抄録・会誌らば」、「定時総会議案書」、「らばニュース」の仕分け作業委託の是非により印刷会社の変更を検討しているため、各社の見積り資料が提示され検討を行った。前回理事会時に問題となった会員個人情報の業者への提示については、プライバシーマーク取得業者である2社においては問題ないとの説明があった。仕分け作業の業者委託により事務員の負担軽減および費用削減が見込まれるため、仕分け作業委託も含めた印刷会社変更について、全員一致で承認した。今後、詳細な見積りおよび個人情報の取扱い方法等運用について検討し、業者選定をおこなうこととなった。

4. 第20回愛知県医学検査学会 予算案および実行委員の参加費免除について

水野理事より第20回愛知県医学検査学会の予算案が提示され内容についての説明および実行委員の参加費免除について提案があった。実行委員および実務委員へは日当が支払われるが、学会参加費の方が高く差額がマイナスとなっており、当日はお金を払って運営を行う形となっている。これに加え当日はほぼ企画等へ参加することもできないため、実行委員および実務委員の参加費免除について、全員一致で承認した。これに伴い予算書の金額が変更となるため、予算書を再作成し次回の理事会にて再審議することとなった。また同時に、現在の愛知県医学検査学会は展示、協賛、広告、ランチョン協賛などメーカーからの収入が多くなっていることや、消費税増税に伴う支出の増加等があり、参加費の増額についても検討することとなった。

祝賀会・懇親会の会場費前払い金の支払いについて、会場のジョニーズプラスセリーを本契約するために予約金として会場費の一部を前払いする必要があり、会計上も特に問題ないため、全員一致で承認した。これに伴い、組織部から事務所へ支払いの依頼をすることとなった。

5. 令和元年度学術奨励賞候補推薦について

内田学術部長より、第19回愛知県医学検査学会学術奨励賞推薦について3名の推薦があり、資料が提示され協議し、全員一致で承認した。

6. その他

(1) 愛臨技生涯教育制度登録団体からのらばニュース掲載依頼について

中井副会長より、臨床一般検査研究会から講演会開催案内のらばニュース掲載依頼について協議依頼があり、資料を確認し全一致で承認した。

IV. 新入会審査

(1) 9名の新入会・転入会審査を行い、全員一致で承認した。

V. 確認事項

1. らばニュース10月号掲載内容について

武山広報部長よりらばニュース10月の掲載内容について以下の通りと報告確認がされた。

巻頭言 桜山監事

基礎講座へ参加して（微生物）

地区だより（尾張西）

検査と健康展

地区研修会（尾張北）

ベッドサイド実践講習会

AiCCLS（第64回）

令和2・3年度愛臨技役員立候補者公募のお知らせ

春日井救急健康フェスティバルの感想、

2. 精度管理調査報告会会場について

菊地精度管理事業部長より、2020年3月8日に開催される2019年度愛知県臨床検査技師会精度

管理調査報告会の会場について、例年と同じ名古屋 第一赤十字病院内ヶ島講堂を予定しており、これに伴う施設使用願いの確認依頼があった。例年通りであり特に問題はないため、庶務部にて最終チェックの後、発送することとなった。

3. 輸血班講演会における、一般社団法人 日本血液製剤機構【JB】との共催申請について
内田学術部長より 12月 14日に開催される上記講演会の共催申請について、共催申請依頼書と予算書が提示され確認をおこなった。
4. 2019年度日臨技愛臨技主催ベッドサイド実践講習会について
鈴木理事より、2019年度日臨技愛臨技主催ベッドサイド実践講習会について、日臨技の審査が通ったため、らぼニュース掲載原稿について資料が提示され内容の確認をおこなった。
5. 生物化学分析検査研究班講演会における、生物試料分析科学会東海・北陸支部からの共催依頼について
内田学術部長より、上記講演会についての共催依頼について、共催申請書、予算書を含めた資料が提示され確認をおこなった。予算書について不備があり、次回理事会時に再確認することとなった。
6. 生物化学分析検査研究班講演会における、日臨技認定センター認定認知症領域検査技師制度の単位承認研修への登録申請について
内田学術部長より、上記講演会の日臨技認定センター単位承認研修会登録申請が提示され、確認をおこなった。

令和元年 10月 2日

議 長：中根 生弥



議事録署名人：梶山 広美



議事録署名人：山崎 正夫



令和元年度第7回理事会 議事録

日 時：令和元年10月2日（水）18:30～21:15
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：なし
理事定数：21名
出席理事数：21名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

9月 1日 春日井市健康救急フェスティバル
◎藤田、和出

9月 4日 第6回理事会
◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

9月 13日 第1回学術部会
◎内田、鈴木、神野、石神

9月 17日 第1回組織部会
◎刑部、藤田、和出、村瀬

9月 24日 第1回基幹施設小委員会
◎菊地、岡田、内田、佐野

9月 25日 第6回執行理事会
◎中根、中井、岡田、藤田

9月 26日 OSCE評価委員会
◎岡田、内田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第6回執行理事会報告

中井副会長より議事録とともに第6回執行理事会の報告がされた。主な内容は以下のとおり。
事務所移転について業者に相談したところ、予算上希望通りでは困難な点があり、条件を拡げて検討していくこととした。2019年度の賛助会員は全て会費が納入され、最終的に51社であった。日臨技の会費引落し時期が2月のためその後の異動による会員の会費徴収においてやや複雑な手続きとなっている。状況を中部圏支部会で伝えるが、愛臨技としても会員の不

都合が生じないよう対応を検討する。通帳管理を厳密にする必要があるとの指導があり、会計補助科目の追加をした。技師会事務員の負担削減のためマニュアルに沿って正確に入力するよう依頼された。愛知県医学検査学会の運営マニュアルについては管理担当者（学術部）が随時修正し、次回開催地区へ最新版を提示していくこととした。今年度開催予定としていた初級・職能開発講習会は来年度開催とし、計画していく。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より事務員の業務軽減、ペーパーレス化を目的として、次回より理事会資料の印刷物配布をしないことを試行するとの報告があった。レジメと前回理事会の議事録は印刷して配布するので、それ以外の資料を前もって Zoho からダウンロードしたパソコン、タブレット持参あるいは各自で印刷して持参し参加するよう依頼があった。

① 庶務部

夏目庶務部長より以下のとおり報告された。

- 9月 2日 9月に開催される病理細胞研究班基礎講座の実務委員委嘱状を発行し、発送した。
9月 2日 10月に開催される血液検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
9月 2日 10月に開催される生物化学検査研究班基礎講座の実務委員委嘱状を発行し、発送した。
9月 6日 12月に開催されるベッドサイド実践講習会の講師依頼状を発行し、発送した。
9月 6日 3月に開催される 2019 年度愛臨技精度管理調査報告会の会場使用願いを発行し、発送した。
9月 11日 2019 年度愛知県臨床検査精度管理委託事業に関連する試料代の請求書を発行し、発送した。
9月 12日 第 19 回愛知県医学検査学会学術奨励賞候補のお知らせを発行し、発送した。
9月 17日 10月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
9月 17日 11月に開催される微生物検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。
9月 20日 12月に開催されるベッドサイド実践講習会の講師依頼状を再発行し、発送した。
9月 24日 9月に開催された病理細胞検査研究班基礎講座の講師礼状を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の 9 月分会務報告書および会計執行状況について報告があり、研究班で基礎講座などの開催が終わり、執行率が高くなっているとのこと。今後の活動で不足することの無いよう気を付けてくださいとの発言があった。また、日臨技より 5 名の新入会会員の入会金、会費と、微生物研究班の日臨技申請事業に対する補助金の入金がされたと報告された。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より資料とともに 9 月 13 日開催された第 1 回 学術部会会議の報告がされた。主な内容は会計中間監査と来年度の予算申請であり、その他、来期の班体制、精度管理活動、などについて審議され、来年度から遺伝子染色体検査研究班、生殖医療検査研究班からも精度管理委員を選出することになったとのことであった。また同じ施設からの班員選出については 2 名までとすることが確認された。日臨技申請事業に関し、来年度より参加者の多い研究会などでの申請の方が良いとの意見があり、各班 2 行事ではなく、各班 1 行事以上、参加者の多い研究班から 3 行事申請することが報告された。また石神会計部長より、参加費の振込間違いに対する処理方法について返金手数料は参加者負担として良いとのことであった。会場費の高騰のため、今後は受益者負担の観点から研究会などでの参加費徴収も視野に入れて計画をする事も検討していくとの報告であった。

- ② 精度管理事業部
菊地精度管理部長より9月27日(金) 2019年度愛知県臨床検査精度管理調査 総括統計表のWeb公開を行ったとの報告がされた。
- (3) 涉外部門
- ① 各地区報告
- 尾張北地区
9月18日 第3回地区運営会議を開催した。(参加: 11施設 12名)
 - 尾張東地区
9月13日 第3回地区運営会議を開催した。(参加: 12施設 13名)
 - 尾張南地区
9月18日 第5回地区運営会議を開催した。(参加: 9施設 10名)
 - 西三河地区
9月17日 第3回地区運営会議を開催した。(参加: 13施設 14名)
 - 東三河地区
9月27日 第2回東三河生理検査勉強会を開催した。(参加: 8施設 33名)
- ② 組織部
刑部組織部長より資料とともに9月17日(火)開催の第1回組織部会の報告がされた。主な内容は以下のとおり。
検査と健康展は病院の検査を体験してもらう企画とし、学術部へ手伝いを依頼した。また、10月号らぼニュースにボランティア募集を掲載し20名弱を想定しているので各地区理事に協力依頼がされた。1月のNewYearパーティー、2月のニューリーダー育成講習会の案内があり、参加呼びかけの協力依頼がされた。
- ③ 広報部
武山広報部長より「らぼニュース No.451」(10月号)を3,600部発行したと報告があった。

4. 各委員会報告

- (1) ホームページ運営委員会報告
ホームページ更新歴
8月27日 HIV写真の掲載
8月29日 らぼニュース、管理運営研修会の掲載
9月3日 血液検査研究班 10月講演会、カレンダー掲載
9月6日 遺伝子・染色体検査研究班 10月講演会、カレンダー掲載
9月9日 HIV写真の掲載
9月13日 生殖医学検査研究班 7月活動報告の掲載
9月16日 生理検査研究班 11月講演会、12月基礎講座の予約掲載
- (2) 基幹施設小委員会報告
菊地精度管理事業部長より9月24日(火)に開催された第1回基幹施設小委員会の報告がされた。日臨技より基幹施設体制廃止する方向との連絡があったが、愛知県としては機能として存続する事で検討していくとの報告がされた。精度管理事業の結果報告会を11月10日に開催予定。招聘施設を検討中である。

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より 9 月 10 日開催の 2019 年度第 3 回 AiCCLS 実務委員会調整会議の報告がされた。第 1 回理事会・推進委員会の報告と今後の発刊予定物（病理検査部門、血液検査部門）について確認したことであった。パブリックコメント募集中の尿定性検査手順書に対し、単位などの表記方法についての指摘があり、JAB から出されている書式に合わせて欲しいとのことであった。10 月 12-13 日開催の中部圏支部医学検査学会で AiCCLS の発刊物を販売するとの報告があった。尾張北地区施設からの ALP、LD 常用基準法改定についての質問に対し、愛臨技としては特に働きかけはしないが、AiCCLS を通じて情報提供をしていくとのことであった。

中根会長より、9 月 29 日開催の第 4 回よろずセミナーに関し、すでに監査を受けた施設からの情報を元に参加施設みんなでチェックを行い、有意義な会となったと報告があった。

6. 第 20 回愛知県医学検査学会第 3 回実行委員会

水野理事より 9 月 18 日開催の第 3 回実行委員会報告がされた。

予算については協議事項にて審議する。祝賀会会場は予約金の払込も完了し、『ジョニーズプラッセリ』で正式決定としたとのことであった。

第 20 回愛知県医学検査学会開催案内および演題募集要項のらぼニュース掲載原稿、共催・協賛開催趣意書、11 月らぼニュース掲載用巻頭言の確認依頼があった。今回協賛のみの募集は行わないとの報告があった。修正の指摘があれば Zoho へ連絡するよう依頼があった。また趣意書は愛臨技ホームページからダウンロードできるようにすることとした。

学会名については体裁的に余り長いのは好ましくないことから、『愛臨技創立 70 周年記念 第 20 回愛知県医学検査学会』とすることが報告された。

7. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より 10 月の中部圏支部医学検査学会の前日、幹事会があるので提案事項などあればお知らせするよう要請があった。

帽山幹事より日臨技からの報告がされた。主な報告は以下のとおり。

日本臨床化学会『LD、ALP 常用基準法改定』と人間ドック学会『尿沈渣の評価について』のパブリックコメント募集に対し、それぞれ対応し、日常臨床の場で混乱しないよう情報提供などを行う。来年度宮城で開催される全国学会に際し、愛知県に対し企画中の災害シンポジウムのシンポジスト紹介の依頼があった。精度管理試料の値上げがある。各県より購入する試料代は来年 4 月より値上げするが日臨技精度管理事業参加費は据置。令和 3 年度より値上げ予定。

全国学会へのシンポジスト紹介の件は審議の結果、愛知県としても検討するが中部圏支部幹事会でも声を掛け検討することとした。

8. その他の報告事項

(1) 第 69 回日本医学検査学会（宮城）への一般演題登録について

佐野理事よりよろずセミナーに関し以下の演題登録をするととの報告があった。

テーマ：医療法の一部改正に伴う対応について～愛知県での取り組み～

また、よろずセミナー参加施設から参加者側の内容で演題登録をするとのことであった。

(2) 医学検査への投稿について

菊地精度管理事業部長より精度管理事業部の臨床化学検査と免疫血清検査部門の 2016 年度～2018 年度の取り組みと今後の展望について日臨技学会誌医学検査に投稿を行ったとの報告がされた。

III. 協議事項

1. 第 6 回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第 6 回理事会議事録（案）の確認依頼があり、修正があれば 1 週間以内に夏目庶務部長まで知らせることとした。

2. 事務用備品一覧表・貸出内規について

夏目庶務部長より、愛臨技所有の事務用品の貸出の内規、備品一覧表が提示され、申請方法の説明があった。消耗品も含むが有効利用目的であることから細かな規定は設けないこととした。全員一致でこれを承認した。

3. 学術部門 学術部研究班 班員募集のお知らせについて

内田学術部長より研究班班員募集用らば原稿の確認依頼があった。前回の経験からメール申込者に対し必ず受取確認の返信メールを送信することを確認し、その点を修正することで承認した。

4. 2020 年度新規事業 国際交流助成について

菊地精度管理事業部長より愛臨技として国際学会への参加を促す目的で宿泊費、学会参加費などの助成をする国際交流助成事業の提案が出された。審議の結果、助成額 500 ドル/名、年 3 名までとし、選考基準など詳細は検討の余地があるが新規事業としては全員一致で承認された。中根会長より詳細な計画、規程などを学術部中心で検討するよう指示がされた。

5. 2020 年度精度管理事業部臨床化学検査部門の参加費増額について

菊地精度管理事業部長より、臨床化学検査部門の参加費増額の提案がされ、2018 年度の予算、実績を元にした執行率、予算などの資料が提示された。審議の結果、試料代の値上げなどもあり、受益者負担での増額も必要と考えられるが、参加施設の予算対応なども考慮し、来年度は周知期間として参加費増額の予告のみとし、2021 年度から値上げすることで承認された。

6. 第 20 回愛知県医学検査学会について

中井副会長より予算案と参加費の変更案について以下のように説明がされた。

前回の理事会で実行委員の参加費免除提案が承認されたことにより収入の減額となるため、予算案を再度検討した。前回の執行額などと比較し、企業からの収入の減額と講師料等の支出の増額が見込まれることから参加費を 3,000 円とする予算案を作成した。これにより賛助会員からの収入の割合がこれまで 6 割以上であったものが 4 割程度になること、受益者負担の観点からも望ましいのではとのことであった。

参加費をさらに増額する意見も出されたが、収益が大き過ぎることは公益事業として好ましくない。審議の結果、参加費は 3,000 円で承認され、予算案についても承認された。

7. その他

(1) サクラ・ネットワーク・ジャパンからの後援依頼について

夏目庶務部長から表記の講演依頼が届いたとの報告があり、中根会長が内容を吟味したところ問題はないとのことで、書類も揃っていることからこの内容で後援を承認した。

(2) 日本未病システム学会外部リンクについて

武山広報部長より愛臨技が共催している上記学会の愛臨技ホームページ外部リンク挿入の申請書が提出され、全員一致でこれを承認した。

(3) 第 72 回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会の生涯教育申請

夏目庶務部長より上記の申請書が提出された。毎年許可している行事であり全員一致でこれを承認した。

(4) 臨床検査パネル借用願

岡崎市企画秋の元気まつりにて技師会所有の検査パネルを使用する申請書が提出され、全員一致でこれを承認した。

IV. 新入会審査

夏目庶務部長より 11 名の新入会者について審議依頼があり、全員一致でこれを承認した。

V. 確認事項

1. らぼニュース 11 月号掲載内容について

武山広報部長より以下の確認依頼があり、その他掲載事項があれば原稿を提出するよう依頼があった。

* 卷頭言 第 20 回愛知県医学検査学会開催にあたり

* 第 20 回愛知県医学検査学会のご案内・一般演題募集

* 地区だより（尾張東）

* 基礎講座に参加して（病理細胞）

* 2020 NEW YEAR パーティー

* 都道府県ニューリーダー育成講習会

* 糖尿病療養指導研究会学術講演会

* 日本未病システム学会臨床検査部会・愛臨技共催「未病検査セミナー」開催案内

令和元年 11 月 6 日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

議事録署名人：山崎 正夫 

令和元年度第 8 回理事会 議事録

日 時：令和元年 11 月 6 日（水）18：30～20：30
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事
陪 席：なし
欠 席：中根、菊地、山崎監事
理事定数：21 名
出席理事数：19 名
議 長：岡田 元
書 記：水野 義樹
議事録署名人：梶山 広美

はじめに

理事会運営規定第 3 章第 7 条により理事会の議長は会長がこれにあたるが、中根会長欠席のため第 7 条の 2 に従い出席した理事の中から選出し、岡田副会長に議長を委ねることを全員一致で承認した。

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

10 月 2 日 第 7 回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

10 月 16 日 第 5 回精度管理事業部会

◎菊地

10 月 26 日 第 1 回令和元年度ベッドサイド実践講習会会議

◎鈴木、中根

10 月 30 日 第 7 回執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 6 回執行理事会報告

中井副会長より議事録とともに第 6 回執行理事会の報告がされた。主な内容は以下のとおり。事務所移転について、名古屋市内 4 件の紹介があったが築年数および予算の関係上取得は困難と判断した。今後は名古屋市内に限らず交通アクセスが良い地域も候補とし、物件検索を進めることとした。2019 年 12 月開催予定の生物化学分析検査研究班 講演会の予算書について、生物試料分析科学会との共催内容について予算書が再提出され内容を確認し、講師料については生物試料分析科学会と相談し決めていただく事とした。

(2) 中根会長

10 月 11 日 中部圏支部幹事会に出席した。

10月 13日 宮島参議院議員による国政報告会に出席した。

10月 26日 ベットサイド研修会事前会議に出席した。

(3) 中井副会長

10月 13日 宮島参議院議員による国政報告会に出席した。

10月 18日 第23回日本医業経営コンサルタント学会愛知大会(愛臨技 後援)へ出席した。

(4) 岡田副会長

10月 13日 宮島参議院議員による国政報告会に出席した。

(5) 藤田副会長

10月 13日 宮島参議院議員による国政報告会に出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より台風 19 号を含めた愛知県内会員の被災報告について、被災報告なしとの報告があった。各部門の運用マニュアル、手順書、内規、各種様式の提出について、印刷して事務所へ提出し、データファイルは Zoho の対象ファイルへ格納していただくよう依頼があった。

① 庶務部

夏目庶務部長より以下のとおり報告があった。

10月 2日 11月に開催される生理検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。

10月 2日 11月に開催される一般検査研究班基礎講座実務委員委嘱状を発行し、発送した。

10月 7日 2020年4月に開催されるライソゾーム病セミナー in 愛知の後援承諾書を発行し、発送した。

10月 7日 9月に開催された遺伝子染色体検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。

10月 11日 11月に開催される一般検査研究班基礎講座の試料提供願いを発行し、発送した。

10月 15日 日本コンgres・コンベンション・ビューローによる会議開催調査 2019 に回答した。

10月 15日 11月に開催される国民医療推進協議会の中根会長出席について回答した。

10月 16日 台風 19 号の被害状況について日臨技に報告した。

10月 17日 平成 23 年度愛知県臨床検査精度管理調査 内部精度管理アンケートの一部引用に関する承諾書を発行し、発送した。

10月 23日 10月に開催された血液検査研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。

10月 23日 10月に開催された遺伝子染色体検査研究班講演会講師依頼状(事後発行)と講師礼状を発行し、発送した。

10月 31日 12月に開催される日臨技令和元年度災害派遣技師研修会の広報を行った。

10月 31日 2020年4月に開催される第 69 回日本医学検査学会一般演題申込期間の延長について広報を行った。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の 10 月分会務報告書および会計執行状況について、研究会、基礎講座未開催班および地区の会計執行率が低いが、計画通りであるため執行状況は概ね良好との報告があった。各研究班、地区から提出された予算案、要望書をもとに作成した来年度予算案を執行理事会へ提出したとの報告があった。この結果をもとに、一部予算案について再検討の依頼を行ったため、期限までに提出いただくよう依頼があった。事務所への提出が必要な領収書の提出期限について、必ず月を跨がずに提出するよう依頼があった。県の監査で指摘されていた予算の執行状況確認について、今後、執行状況データを利用し予算の流用に関する取り決めの作成や次年度予算作成への反映を行っていくとの報告があった。

日臨技より新入会会員の入会金、会費と、生涯教育推進研修会助成金が2件分入金されたとの報告があった。

(2) 学術部門

岡田副会長より、基幹施設による愛知県内施設のサポート体制構築について、基幹施設小委員会にて了承をえたため、体系図等を作成していくとの報告があった。

① 学術部

鈴木理事より、10月26日に開催された第1回令和元年度ベッドサイド実践講習会会議の議事録が提示され、実習機材の搬入の関係で会議室のみではなくリハビリ室も利用するとの報告があった。内田学術部長より、日臨技推進事業決算報告について遺伝子染色体検査研究班講演会へ35,000円、血液検査研究班研究会へ50,000円の助成金が10月31日に愛臨技へ支払われたとの報告があった。

② 精度管理事業部

岡田副会長より、10月26日に開催された第5回精度管理事業部会の議事録が提示され、内容について以下の報告があった。2019年度日臨技精度保証施設認証制度の案内を対象施設へ送付した。二次サーベイ、結果検討会招聘施設についての確認、および関連文書発送の準備を行った。本年度の招聘対象施設は化学22、免疫15、血液25、一般5、生理5、微生物12、細胞2、病理7、輸血14、総招聘施設数72/148施設との報告があった。その他報告について以下の通り報告があった。

10月17日 精度管理関連文章の発送。

10月21日 施設別報告書のWeb公開、参加証のWebダウンロード開始。

Web公開後に血液検査部門で2件の不備が発覚し、参加施設148施設へお詫びのメール配信を行った。

10月25日 免疫の二次サーベイ申込み〆切。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

・ 尾張西地区

10月18日 第4回地区運営会議を開催した。(参加:7施設8名)

10月18日 地区懇親会を開催した。(参加:3施設5名)

・ 知多地区

10月24日 第4回地区運営会議を開催した。(参加:4施設6名)

・ 東三河地区

10月17日 第4回地区運営会議を開催した。(参加:11施設13名)

② 組織部

刑部組織部長より、10月26日に開催された2019年度管理運営研修会について、参加者44名との報告があった。11月17日に開催する検査と健康展について、スタッフとして組織部12名、学術部12名、ボランティア16名が集まり、このメンバーで準備も含めて進めいくとの報告があった。地区の予算案について、修正が必要となった地区への再提出依頼があった。

③ 広報部

武山広報部長より「らばニュースNo.452」(11月号)を3,600部発行したとの報告があった。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より以下の報告があった。

ホームページ更新歴

9月22日 生理検査研究班 名簿の修正
9月23日 らばニュース関連の掲載
10月2日 申込行事一覧の更新
10月4日 第26回日本未病システム学会学術総会バナーの設置
10月6日 輸血検査研究班 研究会、カレンダー掲載
10月7日 微生物検査研究班 11月講演会、カレンダー掲載
10月8日 中部圏支部医学検査学会（第58回）に開催についてを掲載
10月13日 「各種手続き」へ「事務用備品規則・借用願」を追加
10月13日 2019年度後期行事予定の更新
10月19日 生理検査研究班 活動計画（下半期）の掲載
10月22日 県学会趣意書の掲載、バナーの設置
10月22日 一般演題登録方法のアップロード

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より10月12日・13日に開催された中部圏支部医学検査学会でAiCCLS発刊物を配布したとの報告があった。10月31日に開催されたAiCCLS調整会議について、議事録が提示され以下の報告があった。ALP、LDのIFCC化について、臨床化学部門を中心に共用基準範囲も含め資料作成を行い、執行理事会での協議の後にらばニュースへの同封およびホームページ掲載を予定している。発刊物について、病理検査部門、血液検査部門、輸血検査部門の3部門について検討中との報告があった。病理検査部門、血液検査部門については、1月の理事会へ提出予定とし、輸血検査部門はページ数の問題から3部作とし、後日再確認を行うとの報告があった。

6. 第20回愛知県医学検査学会第4回実行委員会

水野理事より10月16日開催の第4回実行委員会報告がされた。

企業協賛趣意書について、最終確認が終わり配布を開始した。一般演題の登録について、要項の作成を行った。一般演題登録要項および趣意書は愛臨技ホームページからダウンロード可能とした。その他、特別企画、シンポジウム、タイムスケジュールについての検討を行った。懇親会について、予算の確認を行い企画について検討を開始するとの報告があった。

7. 日臨技中部圏支部幹事会報告

梶山幹事より、10月12日・13日に開催された中部圏支部医学検査学会について、台風の影響によるスタッフ、参加者の安全を考慮し、一部企画を中止して開催したとの報告があった。また懇親会についても、各地の被災状況を鑑み適切ではないと判断し、食事会に切り替え厳かに執り行った。10月11日に日臨技中部圏支部幹事が開催され、内容について以下の報告があった。検体採取に関する講習会は次回が最終開催。医学検査学会について2020年は4月25・26日に仙台にて開催、2021年は70回記念として5月15・16日に福岡にて開催が決定している。その後、2022年は近畿支部が担当予定。認知症対応力向上講習会について、今年度は三重県のみが実施する。都道府県ニューリーダー育成講習会について10月18日・19日・20日に熱海にて開催され愛知県から1名参加し、各県での開催については滞りなく行われている。精度管理サポート事業について、日臨技のサポート事業は中止。日臨技定款の改定に伴い、来年の理事改選後から各都道府県から理事1名が選出される。改選にともない、支部代表、部門員の候補等検討していく。初級職能開発講習会について、今年度は静岡県と三重県のみが実施。被災会員について被災届を日臨技へ提出する。ベッドサイド実践講習会について、三重県は目標達成のため開催はなく、それ以外の県については開催する。中部圏支部学会について、2020年は10月31日、11月1日に富山にて開催、2021年は静岡が

60回記念大会として開催予定。学会誌の輸送費について、現在、各県が負担しているが今後学会の支出とする方向で検討中。中井副会長より、日臨技表彰について地域貢献賞が新設されたとの報告があった。推薦者は支部となっているため、各県から支部へ推薦し支部にて選考して日臨技へ推薦する。

8. その他の報告事項

(1) 令和元年度移行期医療支援研修会のご案内について

夏目庶務部長より、愛知県保健医療局長から届いた令和元年度移行期医療支援研修会のご案内について、資料が提示され周知の依頼があった。

(2) 関連団体や行政から届いた案内の周知方法について

中井副会長より、関連団体や行政から届いた案内文について、理事会での報告のみでは周知が遅れるため、今後は Zoho にて随時掲載し各部門や地区へ配信していただく方法へ切り替えるとの報告があった。また、ホームページにバナーを作成し案内や申込み用紙がダウンロードできるようにするために、Zoho でお知らせ後、内容についてはホームページ参照とする予定。

(3) 精度管理施設別報告書の不備について

岡田副会長より、施設別報告書において Web 公開後に血液検査部門にて 2 件の不備が発覚したとの報告があった。直ちに修正を行ったが、閲覧した可能性が否定できないため対象施設へのお詫び状の発送を検討している。

(4) 愛臨技ホームページ上の基幹施設と施設名検索について

武山広報部長より、愛臨技ホームページ上に掲載されている「基幹施設と施設名検索」について、掲載経緯と利用用途が不明なため確認依頼があった。当初は各施設からの質問先として庶務部門にて作成し掲載したが、その後の更新等管理がされていないため、今後の利用について基幹施設小委員会にて検討することとなった。

III. 協議事項

1. 第 7 回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第 7 回理事会議事録（案）の確認依頼があり、修正があれば 1 週間以内に夏目庶務部長まで知らせることとした。

2. スキルアップ研修会における共催申請依頼について

内田学術部長より、1 月 26 日に開催するスキルアップ研修会におけるランチョンセミナーの共催申請について申請書が提示され、書類を確認し若干の修正を加え全員一致で承認した。

3. 発刊物の印刷会社変更について

武山広報部長より、仕分け・発送の委託を含めた金額についての比較表が提示され内容について審議を行った。仕分け・発送を委託する分の金額を印刷費の値下げにより賄うことが可能となるため支出金額は現在とほぼ変わらないこと、郵送先の個人情報取扱いについてはメーカーが P マークを取得しているため問題はないが、契約時に誓約書作成等慎重な取扱いが必要となること等を確認し、審議の結果、来年度からの印刷会社変更について全員一致で承認した。

4. 第 20 回愛知県医学検査学会 学術担当（正・副）への日臨技学術権限の付与について

水野理事より、日臨技登録システムを使用し学会プログラムを作成する必要があるため、学術担当者 2 名への日臨技学術権限の付与依頼があり、全員一致で承認した。

5. 精度管理調査における施設別報告書誤評価に対するお詫び状発送について

岡田副会長より、施設別報告書誤評価に対するお詫び状発送について協議依頼があり、お詫び状

本文については Zoho 内の書類を確認することとし、発送について全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

夏目庶務部長より 9 名の新入会者について審議依頼があり、全員一致でこれを承認した。

勤務先が他県となっている方が 2 名あり、勤務先が変更されていないことが考えられるため理由について総務から本人へ確認することとした。

V. 確認事項

1. らぼニュース 12 月号掲載内容について

武山広報部長より以下の確認依頼があり、その他掲載事項があれば原稿を提出するよう依頼があった。

- * 卷頭言 精度管理事業部
- * 地区だより（東三河）
- * 地区研修会（尾張南）
- * 中部圏支部学会へ AiCCLS
- * スキルアップ研修会
- * 管理運営研修会に参加して
- * 基礎講座へ参加して

らぼニュース 1 月号の原稿締切について、年末年始の関係で印刷会社への提出締め切りが早まるとの連絡があった。

2. らぼニュース 2020 年 年頭挨拶・写真の提供について

武山広報部長より、愛知県知事および愛知県健康福祉部保健医療局長へ依頼する、らぼニュース掲載用年頭挨拶および写真の提供依頼文について、資料が提示され確認をおこなった。

3. 2019 年度愛臨技スキルアップ研修会のらぼニュース掲載について

内田学術部長より、2019 年度愛臨技スキルアップ研修会のらぼニュース掲載原稿が提示され、確認をおこなった。

4. 内部精度管理調査結果引用願について

岡田副会長より、国際医療福祉大学成田保健医療学部から平成 23 年度の内部精度管理アンケート結果の一部について引用依頼があり、ホームページ上にて公開していることおよび施設名がないことから、文書にて許可を発行したとの報告があった。

5. 超音波診断装置等借用について

内田学術部長より、生理検査研究班が基礎講座にて使用する超音波診断装置について、各メーカーへ依頼する借用願いが提示され、確認をおこなった。

6. 令和 2 年度理事会日程について

夏目庶務部長より、令和 2 年度理事会日程について以下の提案があり確認をおこなった。

- (1) 令和 2 年度第 1 回理事会（2020 年 4 月 1 日）
- (2) 令和 2 年度第 2 回理事会（2020 年 5 月 13 日：第 2 水曜日）*
- (3) 令和 2 年度第 3 回理事会（2020 年 6 月 10 日：第 2 水曜日）*
- (4) 令和 2 年度定時総会（2020 年 6 月 14 日 日曜日）

このうち、第 2 回は第 1 水曜日が祝日となること、第 3 回は総会の関係上第 2 水曜日を候補としているとの説明があった。一旦は上記日程を候補とし、議案書の作成等タイムスケジュールによる変更および水曜日に限らない開催日の可能性も含め、今後検討を進めることとなった。

令和元年 12 月 4 日

議長：岡田元印

議事録署名人：梶山広美印

令和元年度第9回理事会 議事録

日 時：令和元年12月4日（水）18:30～20:30
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、藤田、夏目、石神、内田、菊地、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：岡田、刑部、木下
理事定数：21名
出席理事数：18名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、楣山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

11月1日 スキルアップ研修会第2回実行委員会
◎内田、岡田、鈴木、神野

11月6日 第8回理事会
◎中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事

11月10日 2019年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会&第6回精度管理事業部会
◎菊地、岡田、佐野、内田、石神

11月11日 検査と健康展事前会議
◎刑部、藤田、渡辺

11月13日 第2回広報部ホームページ運営委員会
◎武山、藤田

11月17日 検査と健康展
◎刑部、中根、藤田、和出、渡辺

11月25日 第8回執行理事会
◎中根、中井、藤田、石神

11月30日、12月1日 ベッドサイド実践講習会
◎鈴木、中根、岡田、藤田、内田、神野

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第8回執行理事会報告

藤田副会長より第8回執行理事会の報告がされた。主な審議事項は、事務所移転候補地、令和2年度予算案、定時総会までのスケジュールなどであり、詳細は後述の協議事項、確認事

項で報告された。

(2) 中根会長

11月 20日 中部支部検査大会（日衛協） 記念式典出席

11月 21日 愛知県国民医療推進協議会 役員会および地域集会出席

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より会計事務所からの指導事項として、12月開催行事で発行する講師料に対する支払い票（源泉徴収）、マイナンバー関係の書類を必ず12月中に提出する必要がある。12月27日日中までに技師会事務所へ送るよう指示があった。

11月の理事会で保留となっていた新入会2名については2名とも愛知県内の職場への異動であることが確認出来たとの報告がされた。

① 庶務部

11月 1日 11月に開催される検査と健康展への備品貸出手続きを行った。

11月 1日 11月に開催されるベッドサイド研修会への備品貸出手手続きを行った。

11月 7日 精度管理調査における誤報告についての詫び状7件を発行し、発送した。

11月 8日 12月に開催される生物化学分析検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。

11月 8日 12月に開催される輸血検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。

11月 11日 1月に開催される2019年度スキルアップ研修会ランチョンセミナー共催依頼書を発行し、発送した。

11月 11日 12月に開催される病理細胞検査・遺伝子染色体検査研究班合同研究会の講師依頼状を発行し、発送した。

11月 11日 12月に開催される生理検査研究班 基礎講座の講師依頼状を発行し、発送した。

11月 11日 12月に開催される生理検査研究班 基礎講座の機器借用願いを発行し、発送した。

11月 13日 12月に開催される尾張西地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。

11月 13日 1月に開催される2019年度スキルアップ研修会の講師依頼状、特別講師依頼状、実務委員委嘱状を発行し、発送した。

11月 18日 令和元年度第2回役員推薦委員会の開催案内を発行し、発送した。

11月 19日 名古屋市立東部医療センター入院・診療棟開棟記念式典への出席を回答した。

11月 21日 2団体（愛知県医師会・愛知県病院協会）と4社（アルフレッサ・カーグ・シスメックス・スズケン）にお歳暮を発送した。

11月 26日 11月に開催された生理検査研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の11月分会務報告書および会計執行状況について報告がされた。執行率の低い研究班、地区が見られるが12月、1月での開催行事予定があるので概ね問題なく執行されているとのことであった。また、技師会全体の執行状況について報告があり、収入は予定通りの推移をしているが、通信・運搬費がすでに8割執行済み、印刷製本費が予算を超過していることが報告された。予算超過の場合の措置についてはこれまで明確な規定がなかったが、今後規約に明記する方向で考えているとの報告がされた。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より11月1日開催されたスキルアップ研修会第2回実行委員会について資料と共に報告された。テキストに関し、QRコードを使用する等印刷費の削減を行うことが報告された。また、鈴木理事より11月30日・12月1日に開催された「ベッドサイド講習会」の開催報告がされた。受講者15名（当日欠席者1名）、講師4名、実務委員6名での少人数

での開催であったが、その分内容の濃い研修会であったとのことであった。

11月29日、一般検査研究班基礎講座Ⅱ、生理検査研究班講演会の日臨技推進事業決算報告が承認され、それぞれ50,000円の助成金が愛臨技に支払われた。

OSCEの活動に関し、日臨技医学検査学会に演題登録したとの報告がされた。

② 精度管理事業部

菊地精度管理部長より11月10日ウインクあいちにて開催した「2019年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会」について、対象施設72施設（参加総数148施設）のうち、28施設42名の参加（昨年度：21施設27名 / 対象施設64施設）があったと報告がされた。結果検討会終了後、第6回事業部会を開催し、結果検討会での各部門の対応と総評および総括集のスケジュール確認を行った。なお、今年度から総括集配布は希望施設のみとしたが、理事への配布もしないことになったと報告された。

また、2020年度都道府県精度管理調査における日臨技精度管理調査試料(臨床化学)の使用について資料の通り申請、2020年度より試料代が値上がりすることが報告された（10月理事会承認済み事項）。

2020年度日臨技医学検査学会誌に投稿していた生物化学部門精度管理事業の活動に関する論文が受理されたと報告された。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張北地区

11月20日 第4回地区運営会議を開催した。（参加：14施設15名）

11月20日 尾張北地区研修会を開催した。（参加：52名 内訳：会員43名、非会員9名）

● 尾張東地区

11月8日 第4回地区運営会議を開催した。（参加：12施設13名）

● 尾張南地区

11月20日 第6回地区運営会議を開催した。（参加：8施設9名）

11月20日 尾張南地区勉強会を開催した。（参加：21名）

● 西三河地区

11月19日 第4回地区運営会議を開催した。（参加：14施設15名）

② 組織部

藤田副会長より資料と共に11月11日開催した検査と健康展事前会議の報告がされた。主な内容は開催当日の実施内容、役割分担、配布物等の確認であった。

11月17日にイオン熱田で開催した検査と健康展について、参加者は延べ1,593名、実務委員40名であり、体験コーナー等、盛況であったことが報告された。

12月～3月までのHIV無料検査は特定非営利活動法人HIVと人権・情報センターの体制変更のため休診となったことが報告された。

また、ニューアイイヤーパーティー2020への応募について、今年度からホームページ上からの申込と変更になっているため、賛助会員も含め広報して応募をして欲しいとの依頼があった。2月開催のニューリーダー研修会の申込についても同様の依頼がされた。

③ 広報部

武山部長より、「らぼニュースNo.453」（12月号）を3,600部発行したと報告された。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より、第2回広報部ホームページ運営委員会について報告がされた。委員については今年度1名減ったがこのまま継続する、来年度学術部門研究班員の変更があるため、学術部門と協議し、4月5日（日）開催予定の班長会議同日にグループウェア、ホームページ等の使用方法説明会を開催する予定。また、各部門使用の認証端末がWindows7であるため、サポート終了後の問題点など早急にまとめて報告することであった。

ホームページ更新歴

10月31日 らぼニュース11月号の予約掲載

11月1日 県学会開催概要のサイドメニューへのリンク

11月1日 血液検査研究班 1月基礎講座、カレンダー、活動報告の掲載

11月1日 輸血検査研究班 12月講演会、行事予定を掲載

11月1日 生物化学分析検査研究班 12月講演会の掲載

11月4日 各行事カレンダーへの掲載

11月5日 AiCCLSのパブコメの削除

11月6日 生殖医学検査研究班 12月研究会の掲載

11月8日 病理細胞検査研究班 基礎講座の活動報告、12月研究会、カレンダーの掲載

11月20日 施設連絡責任者変更届の掲載、学会バナー削除

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、11月22日に開催された2019年度第5回AiCCLS実務委員会調整会議の報告がされた。「ALP・LDの測定方法の変更に関する案内」と輸血検査における標準手順書①～③（基本操作・血液型編、不規則抗体検査・交差適合試験編、その他 検査編）について確認した。また、大阪府の技師より「臨床化学検査の手引き」の内容について質問があり、編集担当であったものが対応、回答し、感謝されたとの報告がされた。11月24日に開催されたよろずセミナーについて、保健所監査後の情報提供をして終了したとの報告であった。

6. 第20回愛知県医学検査学会第5回実行委員会報告

尾張南地区水野理事より11月20日開催された第5回実行委員会の報告がされた。地区企画、シンポジウム等の懇親会余興内容などについて検討し、一般演題登録数、企業協賛状況の報告があった。また、地区理事に対し参加型特別企画への協力依頼があり、各地区での回答者を推薦して欲しいとのことであった。回答者の条件等を後日提示するとのことであり、協力することとした。

7. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より、1月25日に開催される全国幹事連絡会議での日臨技活動に関する質問や要望事項があれば報告するよう依頼がされた。

8. その他の報告事項

- (1) 尾張北地区より自施設の技師が会員なのか非会員なのか、自宅会員なのかがわからないため、施設毎の名簿の配布を要望があったが、愛臨技としては個人情報保護の観点から名簿の配布はしない、必要であれば個別に地区理事に確認することで対応して欲しいとの回答であった。
- (2) 梶山幹事より、日臨技より出された来年度一般政策要求事項として出された7項目についての情報提供があり、中根会長より11月20日付で厚生労働省より出されたタスクシフトシェアに関しての情報提供もされた。

III. 協議事項

1. 第8回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第8回理事会議事録（案）の確認依頼があり、修正があれば1週間以内に夏目庶務部長まで知らせることとした。

2. 「ALP・LDの測定方法の変更に関する案内」について

精度管理事業部 佐野理事より海外のガイドラインにも対応したIFCC標準化対応法への移行が決定していることから作成した上記お知らせの案が提示された。内容を審議、確認し、愛知県標準化協議会での承認が得られた後、らばニュースに同包およびホームページに掲載することで承認された。

3. 愛臨技ホームページへの賛助会員企業、学会の有料バナーについて

武山広報部長よりホームページ上への賛助会員企業、学会などのバナーを有料化し、ホームページ維持費としてはどうかとの提案があった。公益社団法人として有料化することは問題がないか確認が必要であるとの指摘もあり、他の技師会の状況などを調査し、また、具体的な予算などを提示して再度提案することとした。その他、ホームページ機能に関することで要求事項があれば武山広報部長までお知らせすることとした。

4. 修文大学医療科学部臨床検査学科の外部リンク申請書について

武山広報部長より、県内の臨床検査技師養成校の足並みを揃えるため、今春開講する修文大学医療科学部臨床検査学科の外部リンクをホームページに載せる提案があり、大学側も掲載を希望することでもあり、全員一致でこれを承認した。

5. 令和2年度会計予算案について

石神会計部長より、令和2年度予算案が提示され、内容説明・確認がされた。事業の変更、中止などによる若干の修正・変更点が指摘されたが特に大きな問題点はなく、修正後会計事務所へ提出することで承認された。

6. らばニュース表紙レイアウトについて

武山広報部長より新しいらばニュース表紙のレイアウト案が提示され、多数決で選ばれた案を基にして再度印刷会社に最終デザインを提示してもらうこととした。

IV. 新入会審査

夏目庶務部長より1名の新入会者について審議依頼があり、全員一致でこれを承認した。

V. 確認事項

1. らばニュース1月号掲載内容について

武山広報部長より以下の確認依頼があった。

*卷頭言 年頭挨拶（愛知県知事、健康医療局長、中根会長）

*地区だより（尾張西）

*地区研修会（尾張東）

*精度管理調査結果検討会

*基礎講座へ参加して（一般検査）

*「検査と健康展」に参加して

*令和2・3年度愛臨技役員立候補者公募の結果について

*ニューリーダー研修会参加報告

年末年始の都合、原稿は12月6日締め切りとなることが報告された。

2. 2019年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会の模様について
菊地精度管理事業部長よりらぼニュースへの掲載依頼があり、これを承認した。
3. 精度保証管理検査技師 日臨技指定講習会申請について
内田学術部長より 2020年3月開催予定の 2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会及び特別講演会について認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度更新指定研修会への登録申請依頼があり、これを全員一致で承認した。
4. 定時総会議案書の印刷について
夏目庶務部長より令和2年度定時総会出席票・委任状の印刷形態について提案があり、協議の結果綴じ込み印刷とすることで承認された。
5. 令和2年度定時総会および理事会日程について
中井副会長より令和2年度総会および理事会の日程については会議室の確保、議案書作成スケジュール等調整が再度必要であることから、再度執行理事・庶務部長・広報部長で調整した上で決定するとの報告がされた。

令和2年1月8日

議長：中根 生弥

議事録署名人：梶山 広美

議事録署名人：山崎 正夫

令和元年度第 10 回理事会 議事録

日 時：令和 2 年 1 月 8 日（水）18：30～20：15
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事
陪 席：なし
欠 席：岡田、今井、木下、山崎監事
理事定数：21 名
出席理事数：18 名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥、楣山 広美

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

11 月 30 日、12 月 1 日 ベッドサイド実践講習会

◎鈴木、中根、岡田、藤田、内田、神野

12 月 4 日 第 9 回理事会

◎中根、中井、藤田、夏目、石神、内田、菊地、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、楣山監事、山崎監事

12 月 11 日 第 2 回愛知県臨床検査標準化協議会実務委員会

◎岡田、内田、佐野

12 月 19 日 スキルアップ研修会第 3 回担当者会議

◎内田、岡田、鈴木、神野

12 月 25 日 第 9 回執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 9 回執行理事会報告

中井副会長より議事録とともに第 9 回執行理事会の報告がされた。主な内容は以下のとおり。
令和 2 年度定時総会までのスケジュールについて、5 月の理事会を 5 月 1 日に変更することで定時総会を 6 月 14 日に開催できるよう準備を進めることとした。中期事業計画書作成について、令和元年～3 年までの事業計画案を各部門において作成するよう指示があり、4 月の理事会での提示を目標とすることとした。

(2) 中井副会長

12 月 8 日 名古屋市立東部医療センター入院・診療棟開棟記念式典へ出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より、各部門の運用マニュアル、手順書、内規、各種様式について、各部門から提出いただいたファイルを総務部門にてまとめるとの報告があった。日臨技からの会員施設実態調査および会員意識調査への協力および令和元年度がん検診従事者講習会の開催について、周知および実施の依頼があった。

① 庶務部

夏目庶務部長より以下のとおり報告があった。

12月 5日 11月に開催されたベッドサイド実践講習会の講師礼状を発行し、発送した。

12月 5日 12月に開催される病理細胞検査研究会研究会の講師依頼状を発行し、発送した。

12月 6日 12月に開催される生物化学研究班講演会の講師謝礼変更について文書を発行し、発送した。

12月 6日 2月に開催される西三河地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。

12月 9日 11月に開催された知多地区研修会の講師礼状を発行し、発送した。

12月 9日 12月に開催された生物化学研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。

12月 9日 1月に開催される血液検査研究班基礎講座の講師依頼状と実務委員委嘱状を発行し、発送した。

12月 12日 1月に開催される尾張南地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。

12月 18日 12月に開催された生理検査研究班 基礎講座の講師礼状を発行し、発送した。

12月 18日 12月に開催された輸血検査研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の 12 月分会務報告書および会計執行状況について報告があり、来年度予算について会計事務所より前年の決算に応じた予算を作成するよう指示があったため、これを踏まえて検討するとの報告があった。学術部および各地区より、出納簿、通帳・領収書コピーの提出を受け中間会計監査を行い会計元帳へ入力中との報告があった。また、事業が終了した部門は速やかに最終会計報告を行うよう依頼があった。

(2) 学術部門

内田学術部長より、令和2年度ベッドサイド研修会の中止について報告があった。厚生労働省において「医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト／シェアの推進に関する検討会」が開催されたことに伴い、移管可能な業務を要望している日臨技としても今後はこちらに方向性を向けるため、ベットサイド研修会を中止することとしたとの説明があった。

① 学術部

鈴木理事より、11月 30 日、12月 1日に開催された令和元年度ベッドサイド実践講習会の開催報告、決算書、アンケート調査について資料が提示され以下の報告があった。受講者数が 15 名となり、当初は 40 名で計画をしていたため受講料収入が伸びなかつたこと、昨年度の経験を踏まえサポート講師を増員し人件費が増額したことがあり、愛臨技からの助成金額が 33,803 円となった。アンケート結果から、参加者の評価は概ね好評との結果が得られた。

内田学術部長より、12月 19 日に開催されたスキルアップ研修会第 3 回実行委員会の議事録が提示され、内容について報告があった。また、参加申し込み状況が報告され参加について周知依頼があった。12月 27 日に微生物検査研究班講演会、輸血検査研究班講演会の日臨技推進事業決算報告が承認され、愛臨技への助成金がそれぞれ 50,000 円支払われたとの報告があった。日臨技学術奨励賞について、学術部より優秀論文賞と特別奨励賞の推薦を出したとの報告があった。

(3) 涉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

12月 8日 地区研修会を開催した。(参加 43 名 : 会員 42 名、非会員 1 名)

- 12月20日 第5回地区運営会議を開催した。(参加:7施設8名)
- 知多地区
12月19日 第5回地区運営会議を開催した。(参加:5施設7名)
- 東三河地区
12月19日 第5回地区運営会議を開催した。(参加:10施設11名)

② 組織部

刑部組織部長より特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センターによる VCT 事業の中止について、法人解散により事業終了となり来年度以降のこれに代わる公益事業については組織部にて検討中との報告があった。ニューヤーパーティー2020について、現在の参加申し込み状況が会員 93 名、賛助会員 82 名との報告があった。2月 16 日に開催されるニューリーダー育成講習会について、参加申し込み状況の報告があり参加について周知依頼があった。

③ 広報部

武山広報部長より「らぼニュース No.454」(1月号)を 3,600 部発行したとの報告があった。らぼニュース表紙およびロゴについて資料が提示され、PC やプリンターの機種により若干色味が変わるため、印刷会社へテスト印刷を依頼することとなった。また、レイアウトやロゴに関して意見がある場合は後日連絡することとした。Zoho に代わるグループウェアおよび電子議決システムについて、丸理印刷においてシステム開発が可能との返答を受けたため、内容についての資料が提示された。電子議決システムについては、仕様等について日臨技の電子議決システムの担当者に相談することとなった。グループウェアについては、新規のプログラム開発となるため愛臨技として必要な機能の洗い出しを行い、見積りも含め本格的に進めることとなった。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長よりホームページ更新歴およびスパイスサーバー移管作業に伴うホームページ不具合について以下の報告があった。

ホームページ更新歴

- 11月23日 生理検査研究班 活動報告の掲載
- 11月28日 らぼニュース 11月号、地区研修会、スキルアップの予約掲載
- 11月30日 一般検査研究班 活動報告の掲載
- 12月 4日 輸血検査研究班 11月研究会の活動報告とアンケート掲載
- 12月 4日 修文大学のリンク先の掲載。
- 12月 10日 「申込行事一覧」から終了行事の削除。
- 12月 10日 「春日井健康救急フェス」の写真を追加。
- 12月 11日 生理検査研究班 10月研究会、11月講演会の活動報告変更、12月の基礎講座の活動報告の掲載。2月の研究会の予約投稿。

ホームページ不具合等

- 11月 21日 スパイスサーバーの移管作業
- 11月 22日 HP 閲覧の不具合発生。サーバー再起動にて復帰
- 11月 28日 HP ソフト、アップロード容量の修正
- 12月 10日 HP 閲覧の不具合発生。特定 PDF ファイルへの集中アクセスにより、サーバーメモリのキャパオーバーが要因。スパイスにて復帰対応。
- 12月 11日 HP 閲覧不可。PDF ファイルにアクセスし終わった際にプロセス終了がされず、メモリーが解放されていなかったことが原因。

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より 12 月 11 日に 2019 年度第 2 回 AiCCLS 実務委員会を開催し、AiCCLS 理事会提出予定の発刊物（尿定性検査の手順書（パブコメ対応）、CBC の誤差要因と対策 第 2 版、輸血検査

における標準手順書①～③) とリーフレット 「病理検体とホルマリンの取り扱いについて」 並びに愛臨技 HP に公開を予定している「遺伝子検査のアンケート」についての最終確認を行ったとの報告があった。

6. 第 20 回愛知県医学検査学会第 6 回実行委員会

水野理事より 12 月 18 日開催の第 6 回実行委員会報告がされた。学会ポスターについて、ポスターおよび抄録表紙が決定し、2 月らぼニュース背表紙に印刷することとなった。尾張南企画について、参加型 CPC の解答者選出について各地区から 1 名ずつ選出いただくよう依頼があった。企業協賛（展示、広告、ランチョン）の申込み状況について、申し込みがされていない企業への声掛けについて依頼があった。演題登録状況について報告があり、各施設に演題登録への協力依頼があった。懇親会について、懇親会会場側から当日の増員をできるだけ少なくしてほしいとの要望があり、4 月のらぼニュースへ懇親会の参加事前申し込みに関する案内を掲載するとの報告があった。

7. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より、台風の影響により縮小し開催した 2019 年度日臨技中部圏支部医学検査学会における赤字補填について、日臨技に請求申請することとしたとの報告があった。会員施設実態調査および会員意識調査への協力について前者は施設に対して、後者は会員個人に対してのアンケートとの報告があり、各施設への周知依頼があった。

III. 協議事項

1. 第 9 回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第 9 回理事会議事録（案）の確認依頼があり、修正があれば 1 週間以内に夏目庶務部長まで知らせることとした。

2. 令和 2 年度収支予算案について

石神会計部長より収支予算書の一般正味財産期首残高の変更について、会計事務所より 2019 年 3 月末での一般正味財産残高に 2019 年度予算のマイナス分を考慮した金額に変更するよう指導があったため、2020 年度の一般正味財産期首残高を変更した収支予算書が提示され金額変更について協議依頼があった。提示された収支予算書には、中止となったベットサイド研修会の予算が計上されているため、実際には当該事業の関連予算を差し引いた金額となるとの説明があったため、上記理由による一般正味財産期首残高の変更について全員一致で承認した。

3. 第 69 回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について

内田学術部長より、第 69 回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について微生物、血液、生理、一般、遺伝子・染色体、その他の 6 部門について推薦依頼があり、座長候補者の一覧が提示され全員一致で承認した。

4. 2017 年に行った遺伝子検査のアンケートの解析結果について

佐野理事より、2017 年に AiCCLS 遺伝子・染色体検査部門が実施した遺伝子検査アンケートについて、調査結果の愛臨技ホームページへの掲載について協議依頼があり、全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

夏目庶務部長より 8 名の新入会者について審議依頼があり、全員一致でこれを承認した。

施設名が入力されていない方が 2 名あり、総務から本人へ愛知県在住である事を確認することとした。

V. 確認事項

1. らぼニュース 2 月号掲載内容について

武山広報部長より以下の確認依頼があり、その他掲載事項があれば原稿を提出するよう依頼があ

った。

- *巻頭言 広報部活動について（武山）
- *地区だより（尾張西）※先月号から延期
- *ベッドサイド研修会開催報告
- *生理検査基礎講座開催報告
- *裏表紙に県学会のポスターを掲載予定
- *2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ

らばニュース3月号の巻頭言について、鈴木理事へお願いすることとなつたとの連絡があつた。

2. 2019年度愛知県臨床検査精度管理報告会来賓要請文書の発行について

菊地精度管理部長より、2019年度愛知県臨床検査精度管理報告会来賓要請文書について、愛知県医師会、愛知県病院協会、愛知県健康福祉部保健医療局への依頼文書が提示され、確認をおこない庶務部より発送することとなつた。

3. 2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ

菊地精度管理部長より2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせについて資料が提示され、らばニュース2月号へ掲載することとなつた。

4. 令和2年度賛助会員加入の案内について

夏目庶務部長より令和2年度賛助会員加入案内について、これまで新年度開始後に募集を行つていたが、会費が4月からとなるため新年度開始前に案内することとなつたとの報告があつた。このため、らばニュース2月号の発送と共に案内を同封することとなつた。

5. 令和2年度事業計画の作成について

夏目庶務部長より令和2年度事業計画の作成について、令和元年度の原稿を修正し作成するよう依頼があつた。3月31日までに県に登録する必要があるため締切を1月25日とし、2月の理事会で承認、変更等あれば3月の理事会で最終承認とするとの報告があつた。

6. 令和元年度事業報告の作成について

夏目庶務部長より令和元年度事業報告の作成について、提示された資料を加除修正し作成するよう依頼があり、締切は2月22日とするとの報告があつた。

7. 会計決算について

石神会計部長より今年度の会計決算について、3月の理事会時に決算に必要な書類等を提出するよう確認があつた。

8. 次期理事の推薦について

夏目庶務部長より次期理事の推薦書について、3月の役員推薦委員会までに必要書類を記載し担当地区の役員推薦委員へ提出するよう確認があつた。

9. 会誌らば掲載文書の提出期限について

武山広報部長より会誌らばに掲載する文書について、3月31日までに提出するよう確認および周知依頼があつた。

10. 第19回愛知県医学検査学会学術奨励賞査読について

内田学術部長より学術奨励賞論文の査読について各理事へ依頼があり、後日Zohoにておこなうこととなつた。

令和2年2月5日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

令和元年度第 11 回理事会 議事録

日 時：令和 2 年 2 月 5 日（水）18：30～20：30
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：谷口 大介（木下理事代理）
欠 席：内田、和出、木下、今井
理事定数：21 名
出席理事数：17 名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

1 月 8 日 第 10 回理事会

◎中根、中井、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事

1 月 16 日 スキルアップ研修会第 4 回担当者会議

◎内田、岡田、鈴木、神野

1 月 17 日 ニューカラーパーティー2020

◎刑部、中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、武山、佐野、和出、神野、今井、
水野、中村、渡辺、梶山監事

1 月 20 日 第 2 回学術部門会議

◎岡田、内田、鈴木、佐野、神野

1 月 21 日 丸理印刷と打合せ

◎中井、武山

1 月 22 日 都道府県ニューリーダー育成講習会事前会議

◎刑部、藤田、内田、武山

1 月 26 日 スキルアップ研修会

◎内田、岡田、神野

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 10 回執行理事会報告

中井副会長より議事録に沿って第 10 回執行理事会の報告がされた。主な内容は以下のとおり。継続審議事項である事務所移転に関して愛知県庁担当者に相談し、積立金の目的外使用、取得の際の借り入れ（ローン）は可能したことなどの助言をいただいた。さらに継続的に検討を続けることとする。公益事業の一つであった HIV 抗体検査ボランティア事業が中止になつたことについては事業を削除すると別の事業を登録する変更届けが必要になる為、当面は削

除せず、休止としておいた方が良いとのことであった。代替事業として医師会より要望のある学校保健健診事業への参加などを検討中との報告がされた。4月らぼニュースから印刷を依頼する印刷会社との打ち合わせをし、セキュリティを担保した方法で送付先情報を送付し、印刷と配送を依頼することとした。毎月のらぼニュース配達に同封したい文書等がある場合は、必ず武山広報部長に確認を取り、指示を仰ぐよう要請された。また、令和3年度からリニューアルする予定でホームページ、グループウェア、電磁議決などについても相談しているとのことであった。

(2) 中根会長

- 1月 14日 愛知県医師会、愛知県協会、愛知県保健医療局へ年始の挨拶に伺った。
1月 18日 第34回学校保健健診懇談会に出席した。
1月 24日 「宮島よしみ政経セミナー」「連盟総会」「賀詞交換会」に出席した。
1月 25日 日臨技全国幹事連絡会議に出席した。

(3) 中井副会長

- 1月 14日 愛知県医師会、愛知県協会、愛知県保健医療局へ年始の挨拶に伺った。
1月 24日 「宮島よしみ政経セミナー」「連盟総会」「賀詞交換会」に出席した。

(4) 岡田副会長

- 1月 14日 愛知県医師会、愛知県協会、愛知県保健医療局へ年始の挨拶に伺った。
1月 24日 「宮島よしみ政経セミナー」「連盟総会」「賀詞交換会」に出席した

(5) 藤田副会長

- 1月 24日 「宮島よしみ政経セミナー」「連盟総会」「賀詞交換会」に出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より感染症に罹患した場合、日臨技全員加入保険（感染症罹患に対する補償）により見舞金が出されることが再度お知らせされた。インフルエンザの場合、ウィルス検査が陰性でも抗ウィルス剤が処方されていれば処方箋でも対象となるとのことであった。日臨技から愛臨技会員の令和2年度の優秀演題賞受賞の報告と、会員意識調査が2月26日まで延長されたので、協力依頼があったと報告された。

① 庶務部

- 1月 9日 3月に開催される精度管理報告会来賓要請文書を発行し、発送した。
1月 10日 令和2年度賛助会員の加入願を2月らぼニュースに同封する準備をした。
1月 10日 1月に開催される第34回学校保健検診懇談会の会長出席回答をした。
1月 14日 11月に開催されたベッドサイド実践講習会の開催報告書を発行し、愛知県看護協会に発送した。
1月 23日 12月に開催された病理細胞検査・遺伝子染色体検査研究班合同研究会の講師礼状を発行し、発送した。
1月 23日 2月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
1月 23日 2月に開催される知多地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。
1月 24日 2月に開催される微生物検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
1月 24日 1月に開催された血液検査研究班基礎講座の講師礼状を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の1月分会務報告書および会計執行状況について報告された。年度末に近いが執行率の低い地区、研究班もあり、会計士よりこの状況を次年度の予算計画に反映させるようコメントをもらっているが、すでに予算案は承認されている。今後

の課題としていくことであった。

(2) 学術部門

岡田副会長より 1 月 20 日に開催された第 2 回学術部門会議の報告がされた。今年度開催したよろずセミナーのような中小規模の施設に対する支援体制が必要と考え、質問しやすい雰囲気を作るため学術部門で Q&A を作成して HP に掲載する、SNS の利用などを検討中とのことであった。今年度輸血検査研究班が実施したネット配信による研究会についても東三河など参加し難い地域の会員のため、さらに検討していくとの報告がされた。

① 学術部

鈴木理事より 1 月 16 日にスキルアップ研修会第 4 回実行委員会を開催し、主に当日の運営、スライドの確認などを行なったと報告があった。1 月 26 日にスキルアップ研修会を開催し、参加者 125 名（愛知県会員 102 名、他県会員 3 名、賛助会員 2 名、実務委員 11 名、講師 7 名）であった。当日講師が体調不良で参加できないアクシデントがあったが、実務委員で対応し、無事終了した。参加者アンケート結果は後日報告するが概ね好評であった。1 月 31 日病理細胞検査・遺伝子染色体検査研究班合同研究会の日臨技推進事業決算報告が承認され、助成金が支払われた。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張北地区

1 月 22 日 第 5 回地区運営会議を開催した。（参加：13 施設 14 名）

● 尾張南地区

1 月 15 日 第 7 回地区運営会議を開催した。（参加：9 施設 10 名）

1 月 25 日 地区研修会を開催した。（参加：60 名）テーマ：臨床検査技師のための診断学

1 月 25 日 地区懇親会を開催した。（参加：9 施設 18 名）

● 西三河地区

1 月 21 日 第 5 回地区運営会議を開催した。（参加：14 施設 15 名）

施設連絡者に、技師会の委嘱状を出してほしいとの要望が出た。これに対して執行理事で検討し、必要があれば発行することであったが、発行のタイミング、発行範囲など次の理事に変わるまでに各地区の要望、情報収集を依頼された。

② 組織部

刑部部長より 1 月 17 日に開催した『ニューイヤーパーティー2020』について、参加者 195 名であり、盛況であったと報告がされた。1 月 22 日に開催したニューリーダー育成講習会の事前会議について資料に沿って報告がされた。昨年度の経験をもとに今年度はグループワークで問題解決の議論ができるようにプログラムを構成したが、申込者が少なく、締め切りを延長したことであった。『フレッシュセミナー2020』を昨年度と内容を若干変更し、2020 年 4 月 19 日（日）、アーバンネット名古屋ビル 20 階シスマックスリップルスクエアにて開催する。渉外部アンケートを精度管理調査報告会において実施予定で準備しているとのことであった。

③ 広報部

武山部長より「らぼニュース No.455」（2 月号）3,600 部発行報告と 1 月 21 日に行った丸理印刷との打ち合わせについて報告された。4 月号より発行されるらぼニュースのデザインが提示された。修正、変更があれば早めにお知らせすることとし、会員に対しデザイン変更のお知らせをすることとした。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より 1月 21 日に丸理印刷とホームページリニューアル（総会出欠、グループウェア等）、サーバー移管について打ち合わせを行ったと報告がされた。理事会、地区理事、学術部に対し、グループウェアの機能についての要望を出して欲しいとの要請があり、3月中に武山部長まで報告することとした。

ホームページ更新歴

12月 22日 らぼニュース 1月号、役員立候補公募の予約掲載

12月 30日 地区研修会、カレンダーの掲載

1月 1日 輸血検査研究班 2月研究会、カレンダーの掲載

1月 2日 生物化学分析検査研究班 12月講演会報告書、2月研究会、カレンダーの掲載

1月 3日 輸血検査研究班 12月講演会報告書の掲載

1月 6日 血液検査研究班 2月研究会、カレンダーの掲載

1月 7日 生理検査研究班 2月研究会の掲載(カレンダー未)

1月 7日 微生物検査研究班 2月研究会、カレンダーの掲載

1月 8日 一般検査研究班 2月研究会、カレンダーの掲載

1月 9日 全国「検査と健康展」の写真の掲載

1月 11日 AiCCLS アンケート（遺伝子染色体）の掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より 1月 20 日に開催した 2019 年度第 2 回 AiCCLS 理事会推進委員会の報告がされた。

「尿定性検査の手順書（パブコメ対応）」、「CBC の誤差要因と対策 第 2 版」、「輸血検査における標準手順書①～③」とリーフレット 「病理検体とホルマリンの取り扱いについて」、並びに「発刊物の愛知県外での販売について（無償）」、「標準化啓発費用について」承認された。

6. 日臨技全国幹事会報告

中根会長より資料に沿って報告がされた。

- 令和 2 年度の日臨技事業計画について
- 臨床検査技師の卒前・卒後教育
- 医師からのタスクシフト/シェア
- 精度認証事業の見直し
- 臨地実習指導者講習会
- 災害対策の強化

特に『検査技師の卒前・卒後教育について』の臨地実習指導者講習会と『医師からのタスクシフト/シェア』について詳しく説明があり、準備検討するよう指示があった。

7. その他の報告事項

(1) 第 20 回愛知県医学検査学会

水野理事より学会への企業協賛状況について、ランチョンセミナー、企業展示、広告協賛全て予定数以上の申し込みがあったと報告がされた。一般演題についてはまだ目標演題数には達しておらず、引き続きの演題登録依頼がされた。地区企画への各地区からの協力について説明があり、各地区理事への協力依頼がされた。

III. 協議事項

1. 第 10 回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第 10 回理事会議事録（案）の確認依頼があり、修正があれば 1 週間以内に夏目庶務部長までお知らせすることとした。

2. 令和 2 年度定時総会スケジュールについて
夏目庶務部長より定時総会までの具体的なスケジュール案提示があり、全員で確認後これを承認した。
 3. 令和 2 年度予算案について
石神会計部長より、ベッドサイド講習会事業中止、および学術部門会議の予算申請追加があったため、これらを反映した予算案が提示され、全員一致でこれを承認した。
 4. 令和 2 年度事業計画について
夏目庶務部長より令和 2 年度事業計画案の提示があり、各部門の内容を確認後、全員一致でこれを承認した。
 5. AiCCLS 関連の愛臨技 HP 更新について
佐野理事よりパブリックコメント募集のため、「CBC の誤差要因と対策 第 2 版」、「輸血検査における標準手順書①～③)」について愛臨技 HP 掲載と、名称変更 (AiCCLS の要綱・規程内) および梅毒検査リーフレットの料金追加 (AiCCLS 発行物購入申込書) について審議依頼があり、全員一致でこれを承認した。
-
6. その他
 - (1) 第 30 回日本臨床工学会 からの後援名義の使用許可申請について
中井副会長より来年度愛知県で開催される第 30 回日本臨床工学会への後援名義使用依頼書が提出されたと報告があり審議した。必要書類は揃っており、全員一致でこれを承認した。
 - (2) 愛知県糖尿病療養指導研究会からの後援及びらぼ掲載申請について
夏目庶務部長より審議依頼があり、今回は後援名義使用のため、日臨技生涯教育としての点数は付与されないこと、らぼニュースへの掲載も有料になることも承知されているとのことであった。審議の結果全員一致でこれを承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 前回理事会で 2 名の入会者の施設名の無記載について
夏目庶務部長より前回理事会で会員条件を満たすか不明であった 2 名についてはいずれも愛知県在住であることを確認したと報告された。1 月入会の 4 名と合わせ全員一致で入会を承認した。

V. 確認事項

1. らぼニュース 3 月号掲載内容について
武山広報部長よりらぼニュース 3 月号の掲載内容について以下の内容で良いか確認があり、この内容で発行することとした。
卷頭言 鈴木理事
AiCCLS 第 65 回
らぼニュースデザイン一新、配送方法の変更について

NewYear パーティーに参加して
基礎講座に参加して（血液）
スキルアップ研修会に参加して
フレッシュセミナー2020

2. 愛臨技ホームページ上の外部リンクについて
武山広報部長より、新型コロナウィルス感染症に関する情報提供として、愛臨技ホームページ上で外部リンク（国立感染症研究所、内閣官房）を張ることに対しての確認があり、全員一致でこれを承認した。
3. 2019年度 JAMTQC 使用申請書について
菊地精度管理部長より上記の申請内容の確認依頼があり、特に問題はなく、庶務部より日臨技へ申請することとした。
4. 令和元年度渉外部門に関するアンケート調査
刑部組織部長より3月の精度管理調査報告会で実施予定のアンケート調査が提示され、内容確認をした。今回は簡単な内容でしたが来年はもう少し詳細な内容で実施したいとのことであった。
5. 丸理印刷秘密保持誓約書（案）について
夏目庶務部長より4月より印刷会社に会員への配達も依頼することとなり、個人情報保護の観点から技師会として秘密保持誓約書を作成し、提出してもらうこととしたと報告された。誓約書案の確認をし、これで進めることとした。

VII. 連絡事項

1. 令和2年度定時総会役員の選出について
夏目庶務部長より令和2年度定時総会での役員について地区理事に対し選出依頼がされた。次回の理事会までに選出し、報告することとした。

令和2年3月4日

議長：中根 生弥

議事録署名人：梶山 広美

議事録署名人：山崎 正夫

令和元年度第 12 回理事会 議事録

日 時：令和 2 年 3 月 4 日（水）18：30～19：45
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺
陪 席：なし
欠 席：鈴木、山崎監事、梶山監事
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

2 月 5 日 第 11 回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

2 月 13 日 第 2 回総務部門会議

◎中井、中根、夏目、柴田

2 月 16 日 都道府県ニューリーダー育成講習会

◎刑部、藤田、武山、内田、和出

2 月 17 日 第 2 回組織部会議

◎刑部、藤田、和出

2 月 28 日 第 3 回広報部ホームページ運営委員会

◎武山、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 11 回執行理事会報告

中井副会長より第 11 回執行理事会について、議事録の提示とともに下記内容が報告された。
令和 2 年度に開催される全会員向けのイベント名に「愛臨技創立 70 周年記念」の冠を付けるようにとの報告があった。

(2) 中根会長

2 月 24 日 「新型コロナウイルスに関連した感染症対策における協力要請について」愛臨技の対応をグループ電話会議で執行理事と協議した。

2 月 29 日 日臨技・中部圏支部幹事会のオンライン会議に参加した。

(3) 中井副会長

2 月 1 日 愛知県理学療法士会 40 周年記念式典、祝賀会に会長代理で出席した。

2 月 24 日 「新型コロナウイルスに関連した感染症対策における協力要請について」愛臨技

の対応をグループ電話会議で執行理事と協議した。

(4) 岡田副会長

2月24日 「新型コロナウイルスに関連した感染症対策における協力要請について」愛臨技の対応をグループ電話会議で執行理事と協議した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より2月13日に開催された第2回総務部門会議について、議事録をもとに報告がされた。

3月4日 役員推薦委員会が行われ、令和2・3年度の理事立候補届け出が全て提出されていることを確認したとの報告があった。

① 庶務部

2月4日 3月に開催される精度管理調査報告会・特別講演会の講師依頼状・座長依頼状・実務委員依頼状・特別講演講師依頼状を発行し、発送した。

2月10日 5月に開催される第30回日本臨床工学会の後援承諾書をFAX送付した。

2月10日 3月に開催される第73回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会の後援承諾書を発行し、発送した。

2月10日 JAMTQCの使用申請書をメール送付した。

2月12日 山菊印刷に印刷会社の変更を連絡した。

2月12日 公益法人の寄付金収入に関する実態調査に回答した。

2月14日 2月に開催された輸血検査研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。

2月17日 第20回愛知県医学検査学会公開講演講師のマイナンバー依頼書を発行した。

2月20日 3月に開催される精度管理調査報告会について新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、参加者の健康と安全面を優先し、開催中止案内を発送した。

2月20日 3月に開催される精度管理調査報告会について新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、参加者の健康と安全面を優先し、開催中止案内を発行し、発送した。

2月26日 2月開催予定の西三河地区研修会について新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、参加者の健康と安全面を優先し、開催中止案内を発行し、発送した。

2月26日 2月開催予定の知多地区研修会について新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、参加者の健康と安全面を優先し、開催中止案内を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の2月分会務報告書および会計執行状況について資料提示により報告がされた。日臨技からの助成金について、血液検査研究班基礎講座、生物化学分析検査研究班研修会、スキルアップ研修会、ベッドサイド実践講習会に対する助成金が入金されたとの報告があった。会務報告書と出納簿の様式変更について、勘定科目等変更があり来年度から新たな様式となるため、新しいファイルを使用するよう報告があった。来年度活動費の支給について、4月1日の理事会にて配布するとの報告があった。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より1月26日に開催した2019年度愛臨技スキルアップ研修会について、收支報告とアンケート結果が資料提示により報告された。また、日臨技からの助成金について2月28日に血液検査研究班基礎講座、生物化学分析検査研究班研修会、2019年度愛臨技スキルアップ研修会の日臨技推進事業決算報告が承認され、愛臨技への助成金が血液検査研究班基礎講座、生物化学分析検査研究班研修会で各49,500円、2019年度愛臨技スキルアップ研修会で50,000円が支払われたとの報告があった。

- ② 精度管理事業部
菊地精度管理部長より、下記内容について報告がされた。
2019年度愛知県臨床検査精度管理調査費用未払い施設はなし。(0/148施設)
2月12日 総括集をWeb公開した。
2月27日 総括集希望75施設、協力メーカー28施設と関連4団体へ郵送した。
3月 8日 開催予定の2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会を中止した。
名古屋第一赤十字病院内ヶ島講堂において、2019年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、開催を中止した。現時点で代替開催の予定はなし。上述のように、2月21日に精度管理調査総括集はWeb公開済み。報告会にて使用予定であった部門別発表スライドは準備が整い次第、3月9日を目処にWeb公開予定。

- (3) 渉外部門
- ① 各地区報告
- 尾張西地区
2月 21 日 第6回地区運営会議を開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、参加者の健康と安全面を優先し、開催を見合せた。
 - 尾張北地区
2月 19 日 第6回地区運営会議を開催した。(参加：14 施設 15名)
 - 尾張東地区
2月 1 日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：10 施設 11名)
2月 1 日 尾張東地区研修会を開催した。(参加：32名 県内 31名、県外 1名)
 - 尾張南地区
2月 19 日 第8回地区運営会議を開催した。(参加：7 施設 8名)
 - 西三河地区
2月 29 日 地区研修会および第6回地区運営会議を開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、参加者の健康と安全面を優先し、開催を見合せた。地区懇親会についても同理由により開催中止とした。
 - 東三河地区
2月 20 日 第6回地区運営会議を開催した。(参加：11 施設 12名)

- ② 組織部
刑部組織部長より 2月 16 日に開催した都道府県ニューリーダー育成講習会について、受講生は 15 名であったことおよび講習会のらば原稿が依頼済みであることが報告された。2月 17 日に開催された第2回組織部会について、議事録の提示により報告がされた。5月 31 日に開催予定の世界禁煙デーボランティア募集の案内について資料提示により報告がされた。

- ③ 広報部
武山広報部長より「らぼニュース No.456」(3月号)を 3,600 部発行したとの報告があった。
2月 28 日に開催された第3回広報部ホームページ運営委員会について議事録の提示により報告がされた。

4. 各委員会報告

- (1) ホームページ運営委員会報告
武山広報部長より以下の報告があった。
ホームページ更新歴
- 1月 26 日 らぼニュース 2月号、精度管理報告会の予約掲載
 - 1月 27 日 日臨技全員加入保険について掲載
 - 1月 28 日 遺伝子・染色体検査研究班 12月研究会活動報告の掲載
 - 1月 30 日 病理細胞検査研究班 12月研究会活動報告、2月研究会、カレンダーの掲載
 - 2月 11 日 2019年精度管理総括集の掲載
 - 2月 12 日 AiCCLS の更新とリーフレット追加

- 2月15日 AiCCLSの会員募集の更新
2月16日 AiCCLSパブコメ募集の掲載
2月19日 2019年度精度管理報告ページの作成
2月19日 精度管理報告会中止の予約投稿、2020年度前期行事予定の掲載

5. 第20回愛知県医学検査学会実行委員会報告

水野理事より、2月19日に開催された第7回県学会実行委員会について議事録提示により報告がされた。一般演題の募集が終了し 51演題集まつとの報告があり、これに伴い学術部へ一般演題の座長選出のお願いがあった。ランチョンセミナーの抽選について、公開抽選会を実施し厳選な抽選の結果共催企業が決定したとの報告があった。

6. 日臨技中部圏支部幹事会報告

中根会長より、4月25日、26日に予定されている日本医学検査学会の開催について、3月14日に開催される執行理事会にて決定されるとの報告があった。また、10月31日、11月1日に富山にて開催される中部圏支部医学検査学会について、大型スポーツイベントと重なり宿泊施設が確保できない可能性や新型コロナウイルスの影響等の問題があり、今後も対応について検討していくとの報告があった。

III. 協議事項

1. 第11回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第11回理事会議事録（案）の確認依頼があり、修正があれば1週間以内に夏目庶務部長までお知らせすることとした。

2. 令和元年度事業報告について

夏目庶務部長より令和元年度事業報告案の提示があり、内容について確認し新型コロナウイルス感染拡大対策として中止された事業の記載方法、地区の研修会・研究会・勉強会開催回数の記載方法について協議をおこなった。地区の勉強会等の記載方法については執行理事に一任することと、第30回日本医学会総会2019「健康未来EXPO2019」について記載すること、その他軽微な修正をおこなうこととし、全員一致でこれを承認した。

3. 令和2年度事業計画について

夏目庶務部長より令和2年度事業計画案の提示があり、内容について確認した。地区の研修会・研究会・勉強会開催回数の記載方法について協議をおこない、記載方法については執行理事に一任することとし、全員一致でこれを承認した。

4. 基礎講座・報告会などの実務委員委嘱状の発行について

夏目庶務部長より、現在発行している基礎講座・報告会などの実務委員委嘱状について、理事や研究班班員が実務委員を行う場合、理事・班員の委嘱内容に含まれており二重発行となるため、イベントごとの委嘱状発行の省略について協議をおこなった。施設によっては委嘱状の提出が必要な可能性があるため、必要性について各研究班に確認することとした。

5. 公益社団法人愛知県臨床検査技師会国際交流事業費等助成金規程について

内田学術部長より国際交流事業費等助成金について、助成金規程、助成金交付申請書、助成金実績報告書が提示され、内容について審議依頼し全員一致でこれを承認した。中井副会長より助成金の取扱いおよび受け渡し方法について、非課税扱いとなり振込みにて受け渡すため、領収書も不要とのことを会計事務所に確認したとの報告があった。承認に伴い3月4日から施行となる。

6. 公益社団法人愛知県臨床検査技師会国際交流事業費等助成金のお知らせのらぼ原稿掲載について

内田学術部長より、国際交流事業費等助成金のお知らせのらぼ原稿が提示され内容について審議を行った。若干の修正を加え、全員一致でこれを承認した。締め切りが7月31日までとなっているが、新型コロナウイルス感染症の関係により各種国際学会も延期等検討しているため、申込

みが少ない場合には、8月のらぼニュースにて追加募集の案内を掲載することとした。

7. 豊橋市精度管理専門委員の推薦について

中井副会長より、豊橋市精度管理専門委員の推薦について2名の推薦依頼状および条件が提示され、規定に則り引き受けてもらえる承諾を得られた2名を、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの委員として推薦することを確認し、全員一致で承認した。

8. 岡崎市精度管理専門委員の推薦について

中井副会長より、岡崎市精度管理専門委員の推薦について1名の推薦依頼状および条件が提示され、規定に則り引き受けてもらえる承諾を得られた1名を、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの委員として推薦することを確認し、全員一致で承認した。

9. 第20回愛知県医学検査学会ランチョンセミナー協賛企業への共催依頼申請について

水野理事より、第20回愛知県医学検査学会ランチョンセミナー協賛企業への共催依頼申請について、共催依頼申請書が提示され内容について確認し全員一致でこれを承認した。

10. 臨床一般検査研究会からの後援依頼について

夏目庶務部長より第18回スキルアップ講習会および第12回日本臨床一般検査学会の後援依頼書が提示され、内容について審議し全員一致でこれを承認した。

IV. 新入会審査

夏目庶務部長より2名の新入会者について審議依頼があり、1名の所属施設が未記入であるが愛知県内在住であることが確認できているため、全員一致でこれを承認した。

V. 確認事項

1. 新人サポート研修会のらぼ原稿掲載について

内田学術部長より新人サポート研修会のらぼ原稿掲載について、原稿が提示され説明をもとに確認を行った。ランチョンセミナーについては現在検討中のため決定次第掲載予定とし、その他若干の修正と「愛臨技創立70周年記念」の冠を付けることとなった。

2. らぼニュース4月号掲載内容について

武山広報部長よりらぼニュース4月号の掲載内容について確認があり、以下の内容で発行することとした。また、丸理印刷への変更に伴い原稿の締切りを3月10日厳守とする。

巻頭言 新年度挨拶（中根会長）

地区だより（知多）

AiCCLS（第66回）

世界禁煙デー

都道府県ニューリーダー育成講習会に参加して

新人サポート研修会

3. 令和2年度定時総会役員について

夏目庶務部長より、令和2年度定時総会役員について各地区から選出された役員候補の一覧表が提示され確認をおこなった。所属施設が変更となる場合には、早急に夏目庶務部長へ連絡することとした。役員の承認は総会内となる。

4. 新型コロナウイルス感染症にともなう行事の中止について

内田学術部長より、愛臨技行事を中止した際の会員への周知方法および中止決定の時期について確認があり、中根会長より開催が公開されている行事の中止連絡はホームページにて行い、5月以降の行事については國の方針や情勢に応じて3月末ごろに判断するため、現状においては開催の方向で準備を進めるとの報告があった。

令和2年4月1日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：中根 生弥 